

第1編

景観づくりのための基本的な事項

第1編では、秋田市景観計画の目的や景観づくりの方針といった基本的な事項について、定めます。

- 第1章 景観計画の策定について
 - 1 景観計画策定の背景と目的
 - 2 景観計画および景観条例の位置付け
 - 3 用語の定義
 - 4 景観計画の構成
 - 5 景観計画の特徴
- 第2章 景観づくりの方針
 - 1 景観計画区域
 - 2 景観づくりの基本方針
 - 3 景観づくりの個別方針
 - (1) 景観の視点
 - (2) 地域別方針
 - (3) 土地利用別方針
 - (4) 景観の性質別方針

第1章 景観計画の策定について

1 景観計画策定の背景と目的

(1) 概要

秋田市では、市民の共有財産である優れた景観を市民一人ひとりの手によって作り育てていくことを目的に、「秋田市都市景観条例」(平成14年秋田市条例第26号)を定め、「秋田市都市景観の形成に関する基本方針」に基づき、施策を進めてきました。

その後、平成17年1月に旧河辺町、旧雄和町との合併を契機に、第11次秋田市総合計画が策定され、「しあわせ実感緑の健康文化都市」を本市のめざすべき将来像と定め、市政が推進されています。

また、平成17年6月に「景観法」が全面施行され、市町村などが地域の特性をいかした良好な景観形成を推進していく環境が整えられました。

こうした中、新屋表町通りでは平成18年度から地域の関係者による景観まちづくりの取組が展開され、市民の間でも景観に関する意識が高まりつつあります。

秋田市では、こうした社会的変化や時代の要請などに対応し、市民や事業者と行政が一体となって、秋田らしい魅力のある景観づくりに取り組むとともに、より良い景観を次世代に引き継いでいくため、景観法に基づく「秋田市景観計画」を策定することとしました。



景観法：平成16年12月17日施行、平成17年6月1日全面施行された日本で初めての景観についての総合的な法律
景観計画：景観行政団体（本計画では秋田市）が景観行政を進める場として、その基本的な計画となるもので、住民参加の仕組み等の景観法に基づく措置は、景観計画区域内を対象

(2) 市民の景観に対する意識

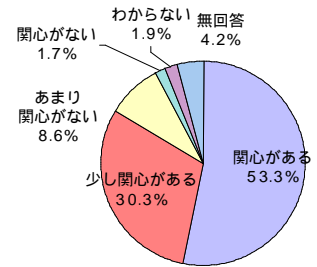
本計画策定の参考とするため、平成20年7月に20歳以上の市民1,000人を無作為抽出し、「景観に関するアンケート調査」を実施しました。「景観への関心」や「景観に対する意識等」、「秋田市の景観行政の取組等」などを質問し、360の有効回答が得られました。

本調査結果は、次のようになりました。

(資料：「景観に関するアンケート調査報告書」平成20年8月都市整備部都市計画課)

景観への関心

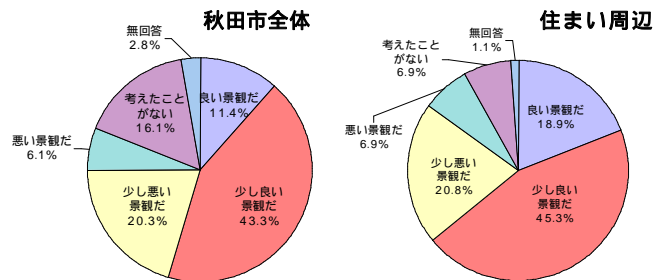
「関心がある」が半数を超え、「少し関心がある」と合わせると約8割の人が景観に対して何らかの関心を持っているという結果になりました。



秋田市の景観の評価

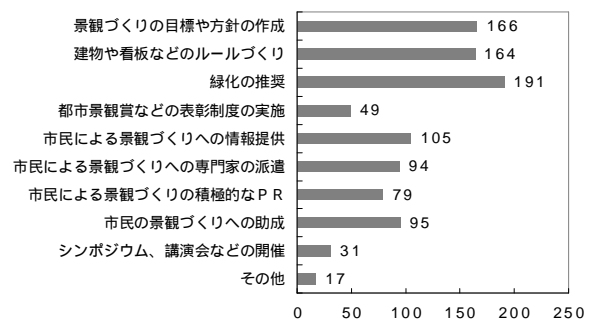
秋田市全体の景観については、「少し良い景観だ」が最も高く、次いで「少し悪い景観だ」「考えたことがない」の順になっています。なお、「良い景観だ」と「少し良い景観だ」を合わせた「良い」は半数を超えています。

住まい周辺の景観については、「少し良い景観だ」が半数近くを占め、「良い景観だ」と合わせると約6割の人が住まい周辺の景観について好印象を持っています。



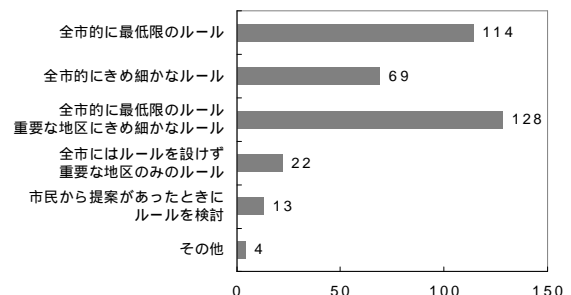
今後の市の景観施策等に望むこと(3つまで)

景観施策等で望むものでは「緑化の推奨」が最も多く、次いで「景観づくりの目標や方針の作成」「建物や看板などのルールづくり」が多くなっています。逆に少なかったものは「都市景観賞などの表彰制度の実施」「シンポジウム、講演会などの開催」となっています。



景観ルールのあり方

ルールのあり方では、「全市的に最低限のルール、重要な地区にきめ細かなルール」が最も多く、次いで「全市的に最低限のルール」となっており、人数からみると回答者の多くが「全市的に最低限のルール」を望んでいることがうかがえます。



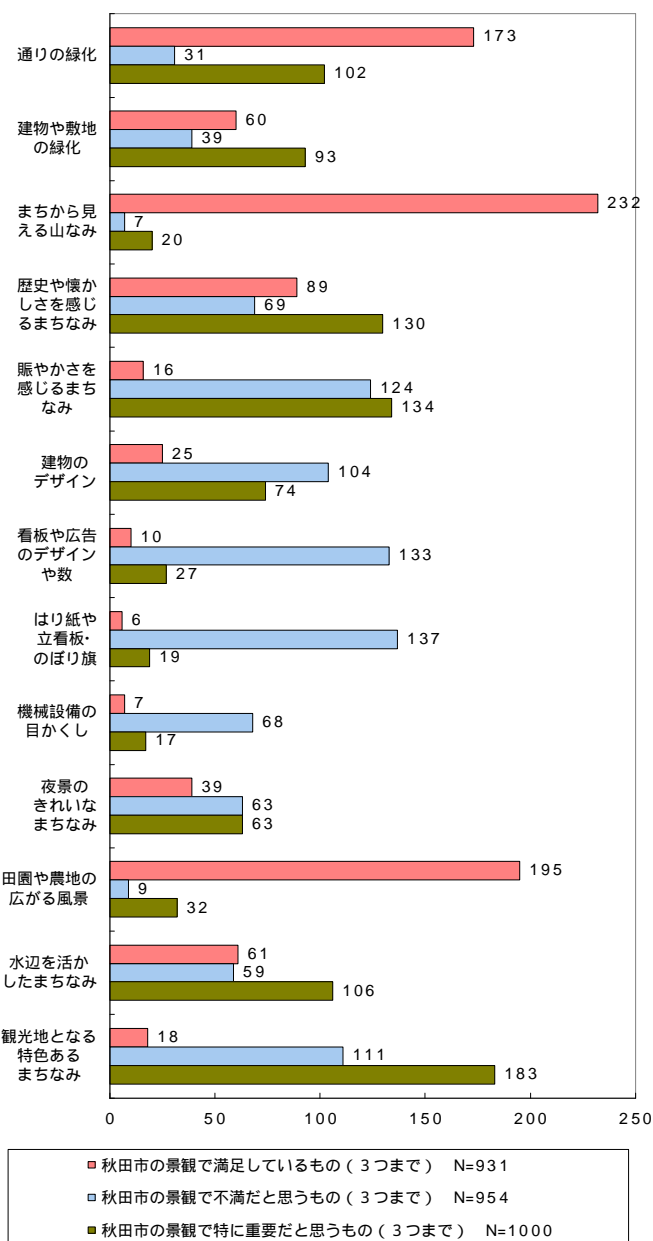
秋田市の景観の満足度等

秋田市の景観で満足しているものについては、「まちから見える山なみ」が最も多く、次いで「田園や農地の広がる風景」「通りの緑化」の順となっており、上位2つについては都市部以外の景観要素があげられました。

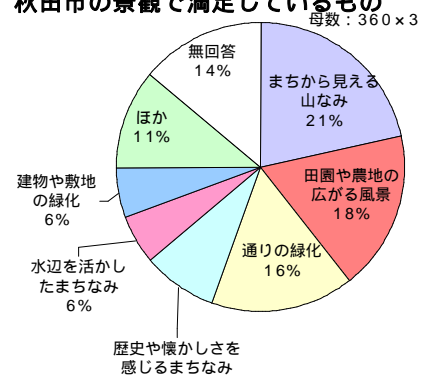
不満だと思うものについては、特に突出したものはありませんが、「はり紙や立て看板・のぼり旗」「看板や広告のデザイン」「賑やかさを感じるまちなみ」が多くあげられました。

景観づくりで特に重要だと思うことについては、「観光地となる特色あるまちなみ」が最も多く、次いで「賑やかさを感じるまちなみ」「歴史や懐かしさを感じるまちなみ」の順となっており、「まちの特色」や「賑わい」が重視されていることがうかがえます。

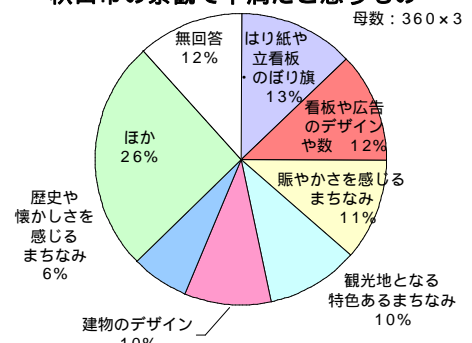
秋田市の景観の満足度等



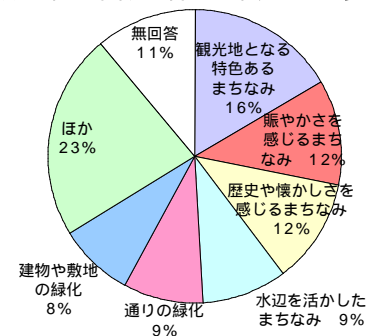
秋田市の景観で満足しているもの



秋田市の景観で不満だと思うもの



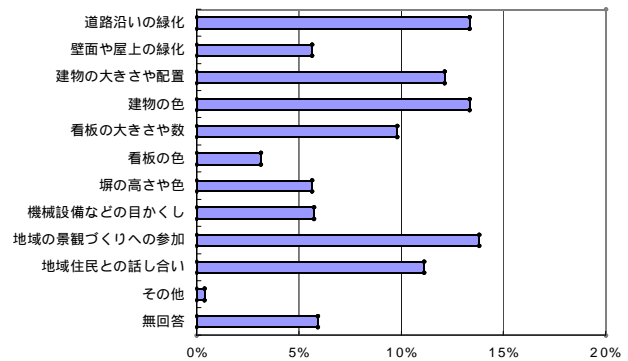
秋田市の景観で特に重要だと思うもの



大規模建築物等の建て主に望むこと

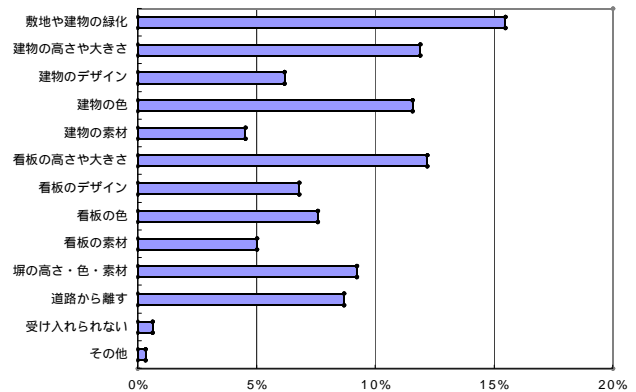
地域住民が大規模な建物等の建て主に望むもので多かったものは、「地域の景観づくりへの参加」「建物の色」「道路沿いの緑化」「建物の大きさや配置」「地域住民との話し合い」で、少なかったものは「壁面や屋上の緑化」「看板の色」「塀の高さや色」「機械設備の目かくし」となっています。

このことから、建物そのもに対する配慮のほか、地域住民とのコミュニケーションを望んでいることがうかがえます。



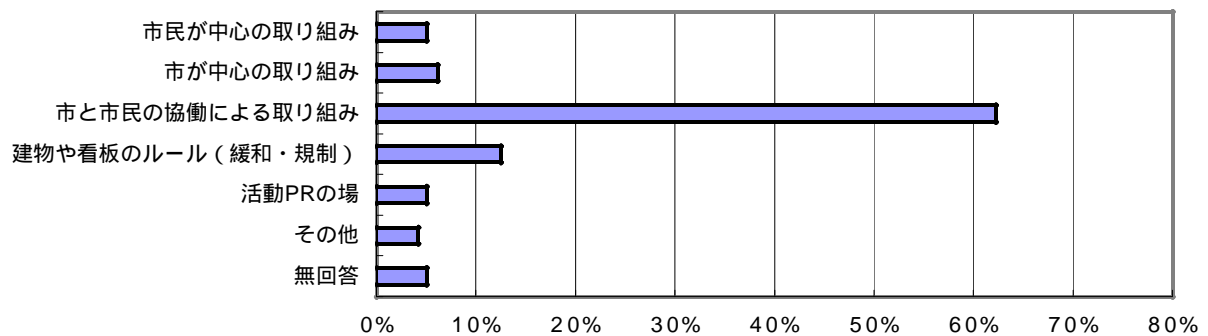
景観ルールで受け入れられるもの

景観ルールで受け入れられるものでは、「敷地や建物の緑化」が最も多く、次いで「看板の高さやデザイン」「建物の高さや大きさ」「建物の色」の順になっています。逆に少なかったものは「受け入れられない」「建物の素材」「看板の素材」「建物のデザイン」で、デザインや素材に関するルールについては否定的であることがうかがえます。



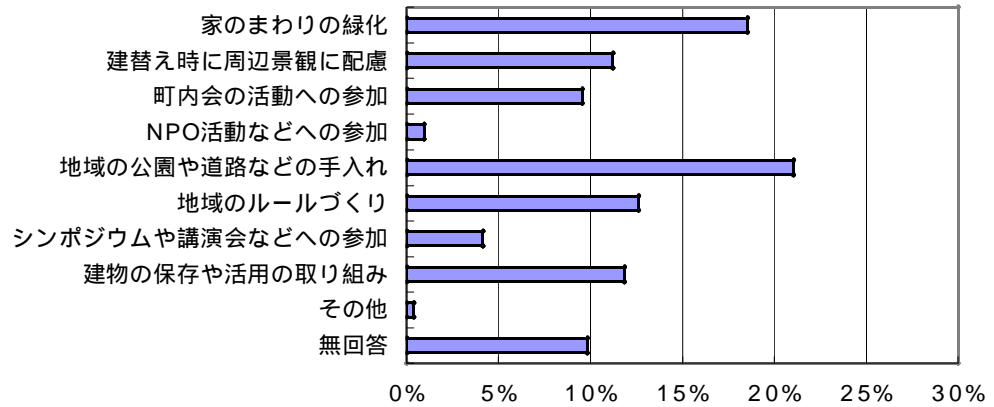
景観を良くするために必要なこと

景観向上に向けての取り組み方法については、「市と市民の協働による取り組み」が突出して多くなっています。その以外の選択では目立った特徴はみられませんでした。



景観を良くするための自身の取り組み

景観向上のために自身が取り組んでも良いというものは、「地域の公園や道路などの手入れ」が最も多く、次いで「家のまわりの緑化」が多くなっており、地域の環境美化、緑化に対しての協力・参加が多いといえます。一方、「NPO活動などへの参加」「シンポジウムや講演会などへの参加」は極端に少なく、地域活動から離れた活動への参加は消極的であると考えられます。



(3) 市民の景観まちづくりの展開

本市では、市民による地域の景観まちづくりが行われ、また、これからの展開が期待されます。本計画では、こういった動きを受け、市民の活動を推進するための環境づくりを行います。（第3編）

新屋表町通り

歴史的な建造物や湧水といった景観資源が存在する商店街である新屋表町通りでは、平成18年度から、地域住民や地域の大学である「秋田公立美術工芸短期大学」の教員等が中心となり、通りの景観向上等を目的とした取り組みが行われています。

H18 地域の住民参加による景観まちづくりの連携活動として、景観まちづくりワークショップを行い、「新屋表町通り景観まちづくりガイドライン」をとりまとめました。

H19 地域関係者等により「新屋表町通り活性化推進委員会」が設立され、地域住民等に親しまれている景観資源である湧水を活用した広場「湧水広場」の整備計画策定、通りに面した空き店舗の利活用、通りに面した空き地の景観整備実験、地域にあるテレビ塔ライトアップによる地域シンボルの創出など、景観まちづくりの試みが展開されました。

H20 地域住民に親しまれている建築物を改修・整備し、景観まちづくり活動の拠点であり、美術工芸短期大学卒業生の活動の場や地域と大学との交流の場となることを目的とした「新屋参画屋」が運営されています。また、「湧水広場」の整備・運営や、活動団体「NPO 新屋参画屋」の設立といった取り組みが展開されています。



川反都市景観地区での取り組み

川反地区では、平成2年に川反地区景観整備計画を定め、独自に景観整備を進めており、平成14年の秋田市景観条例の一部施行と同時に都市景観地区に指定されました。また、地元関係者等で組織される川反地区景観整備促進協議会では、電線地中化や流雪溝整備などの景観向上について協議が行われてきました。なお、平成4年から旭川側の景観向上に寄与する建築等に対して市が費用の一部を助成しています。



秋田杉をいかした街並みづくり

秋田駅周辺では、秋田杉という地域資源をいかしたまちの魅力づくりの取り組みとして、産学官連携による秋田駅西口の駅前広場バス乗り場の修景や、他の市民団体などのイベントを通じて秋田杉ベンチャプランターの設置などが行われています。



千秋公園活性化協議会

本市の主要な景観資源であり、また歴史的・観光的にも重要な千秋公園やその周辺について、魅力を最大限引き出すことにより、旧城下町地域のにぎわいの再生、千秋公園およびその周辺における良好な景観の形成、来訪者の安全安心の確保などを図るため、千秋公園を拠点として活動する市民グループ、周辺商店街などの団体、市、県などにより、平成19年に千秋公園活性化協議会が設立され、イベント等様々な取り組みが展開されています。



河辺鶴養地区

同地区は、農村の原風景とともに、その背後に風光明媚な溪谷があるなど景観資源が豊富な場所です。平成20年10月に、地区住民と農林水産省の「農村景観応援団」との意見交換会が開催され、活発な意見交換がなされるなど、景観まちづくりのはじまりが期待できます。



自治会等による景観への取り組み

雄和地域の女米木地区や銅屋地区などでの景観マップづくりや、西部地域の勝平地区などでの景観写真など、景観に意欲的な取り組みが見られます。(平成19年度の景観ミーティングの開催により本市が把握した取り組みを明記しています。)



2 景観計画および景観条例の位置付け

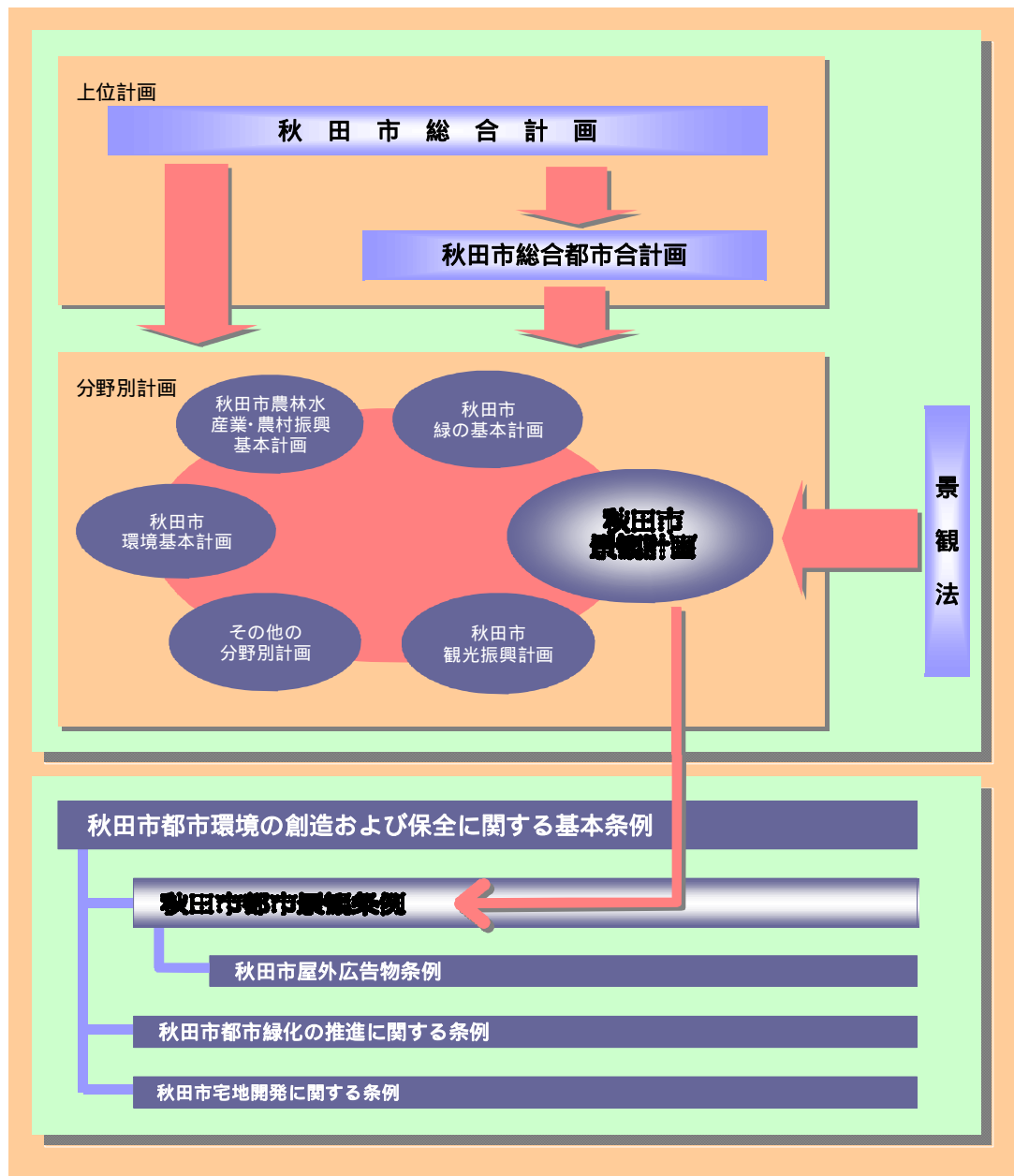
(1) 位置付け

秋田市景観計画（以下、「本計画」という。）は、景観法第8条第1項に基づき、景観行政団体である秋田市が策定する「良好な景観の形成に関する計画」であり、本市の景観づくりの目標や基本方針等を定めるものです。

本計画の策定にあたっては、上位計画である秋田市総合計画および秋田市総合都市計画に適合させるとともに、秋田市緑の基本計画、秋田市環境基本計画等の他の分野別計画との整合を図っています。

また、「秋田市都市景観条例」は、「秋田市都市環境の創造および保全に関する基本条例」の下で都市環境施策の一翼を担いつつ、本計画の施行条例として運用することとします。

秋田市景観計画の位置付けイメージ図



(2) 景観法の概要

景観法は、平成16年12月17日に施行、平成17年6月1日に全面施行された日本で初めての景観についての総合的な法律です。

景観法の特徴

基本理念等基本法の性格と景観計画、景観整備機構等具体的な規制や支援措置が定められていること。

都市部だけでなく農村部、自然公園等も対象としていること。

地域の個性が反映できるよう、条例で規制内容を柔軟に決めることができること。

景観計画区域の変更命令等いざというときに強制力を発揮できる措置を付与していること。

景観計画区域の策定の提案等NPOや住民の参加がしやすいように措置していること。

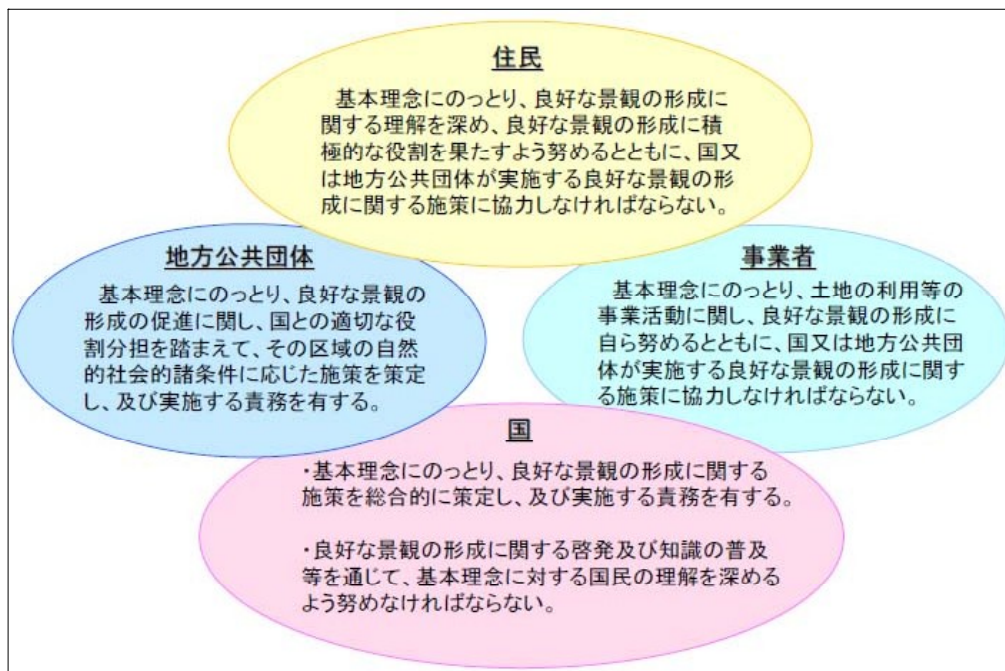
景観地区等において建築物や工作物の形態意匠に係る認定制度が創設されたこと。

景観協議会、景観協定等ソフトな手法による景観整備・保全手法を設けていること。

景観重要建造物に関する建築基準法の規制緩和、予算、税制など景観整備・保全のための支援措置が併せて講じられていること。

「景観法の概要」(平成17年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課)より引用

景観法で定められている責務



「景観法の概要」(平成17年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課)より抜粋

景観法における制度等



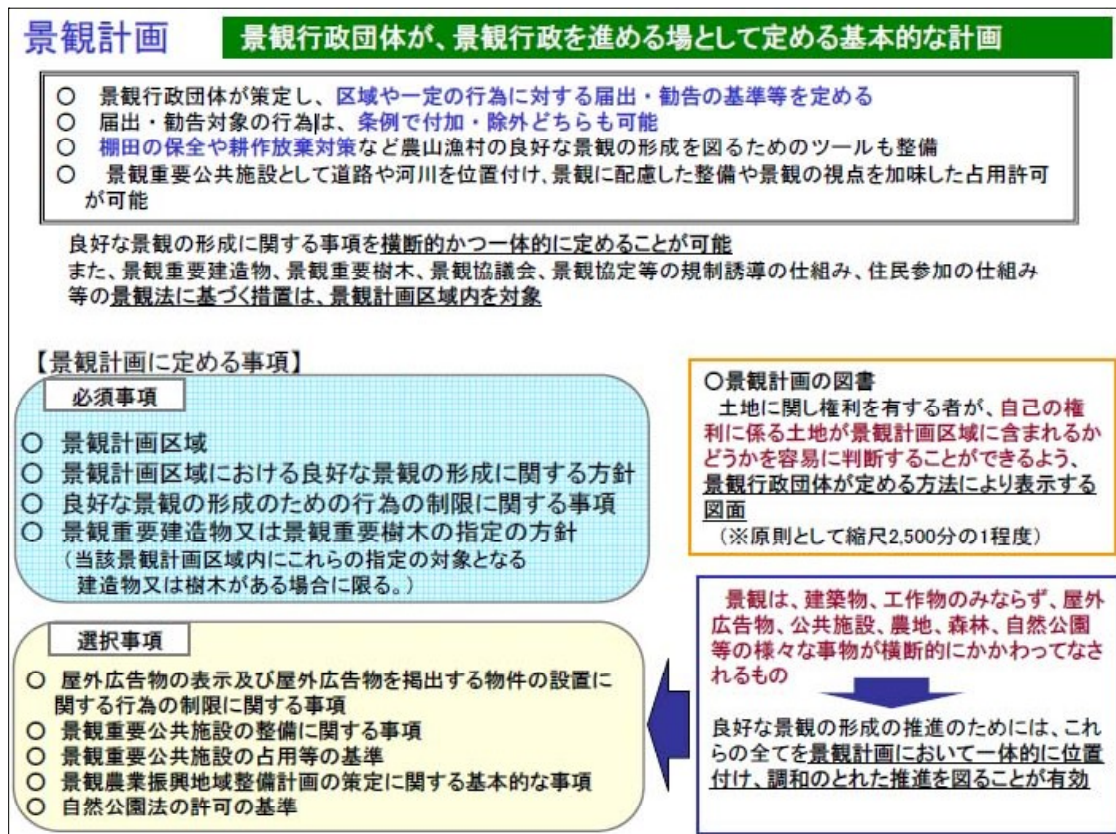
「景観法の概要」(平成17年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課)より抜粋

景観法の対象地域のイメージ



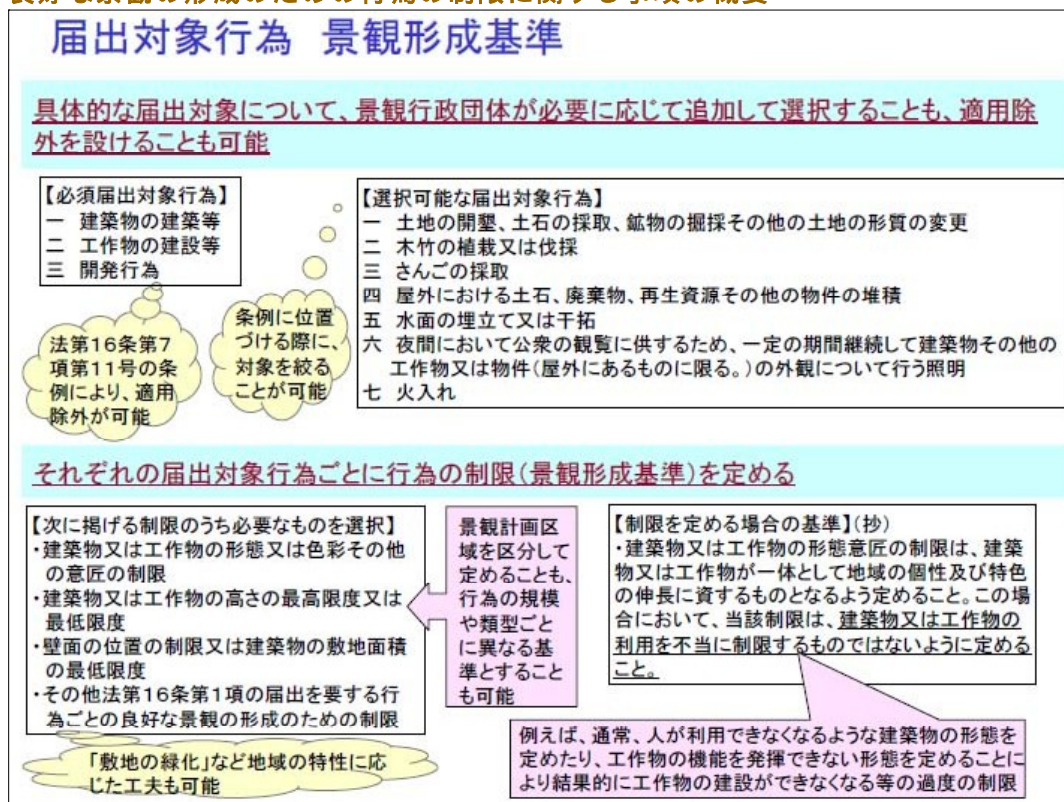
「景観法の概要」(平成17年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課)より抜粋

景観計画の概要



「景観法の概要」(平成17年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課)より抜粋

良好な景観の形成のための行為の制限に関する事項の概要



「景観法の概要」(平成17年9月 国土交通省都市・地域整備局都市計画課)より抜粋

3 用語の定義

(1) 「景観」とは

景観は、それぞれの地域ごとの歴史、地勢や生態系などの風土、文化や伝統、私達一人ひとりの暮らしや経済活動等と、技術の進歩や法律等の制度などが背景となってつくられるものです。

良好な景観は、地域の個性や特色をわかりやすく特徴づけるものであり、人々の地域に対する愛着やふるさと意識を育みます。

身の回りの景観の良さは、潤いある魅力的で豊かな生活環境の創出に貢献します。

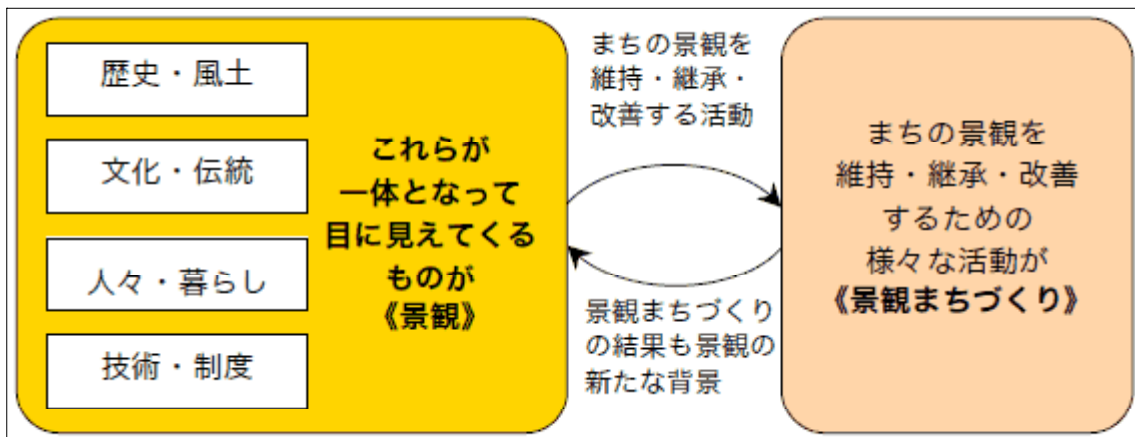
美しく個性的な景観は、観光をはじめ、国内や世界各地との交流を活発にする役割を担います。

(2) 「景観まちづくり」とは

自分たちの街の景観の魅力を楽しみ、貴重な資産として次世代に残せるように、わがまちの景観を維持・継承・改善するための様々な取り組みが行われています。それが景観まちづくりです。

景観まちづくりは、現在の良好な景観を大事に保全することだけでなく、新たに現代的で美しく魅力的な景観をつくりだすことも含みます。

清掃や緑化など、日々の暮らしに根ざした、まちの景観を整えるための地道な活動も、良好な景観まちづくりに貢献しています。



「市民景観まちづくりリーフレット」(国土交通省)より引用および抜粋

4 景観計画の構成

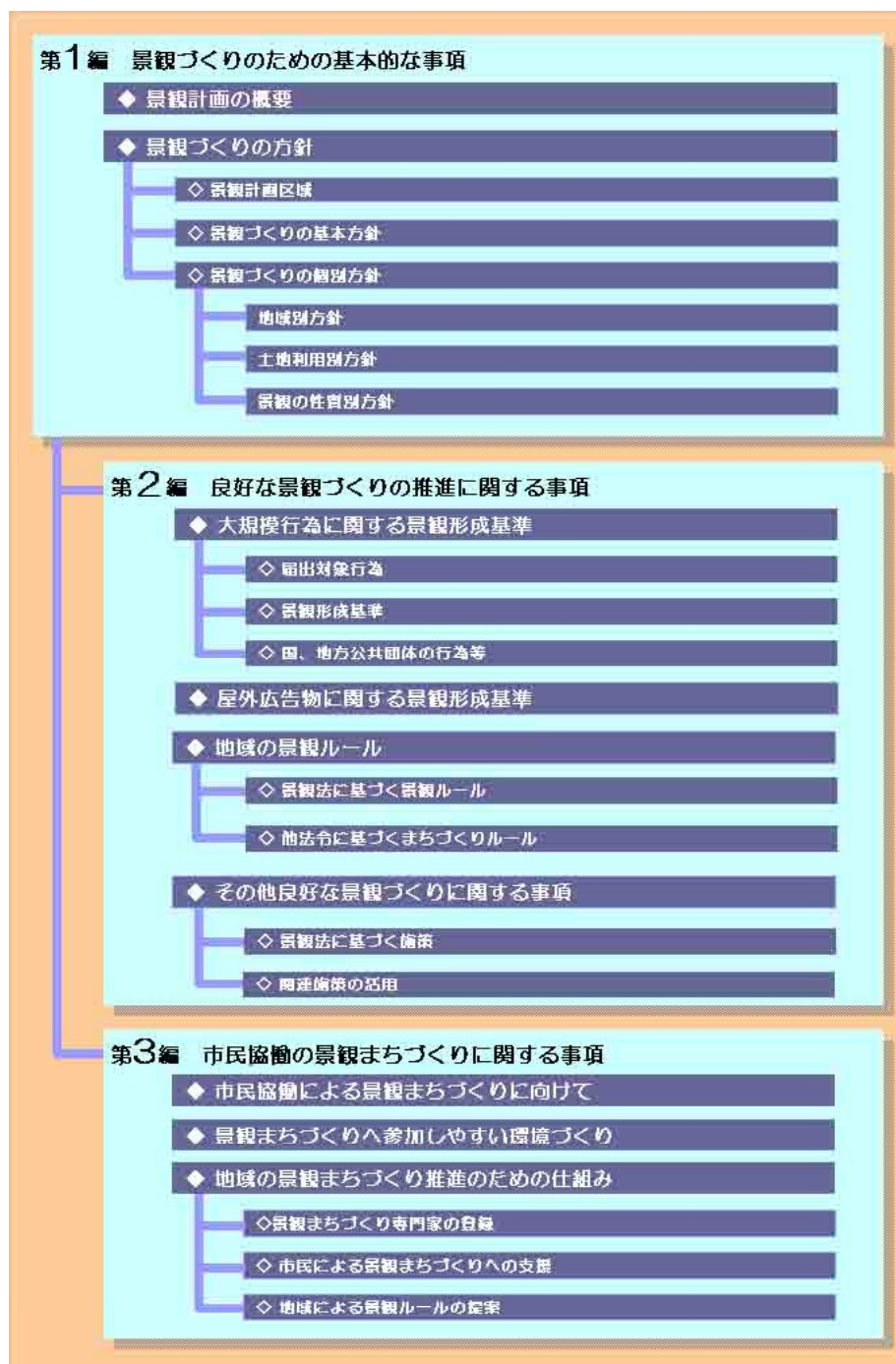
本計画は3編で構成します。

第1編は、景観計画の目的など基本的な事項や目標、基本方針などを定めます。

第2編は、現在の水準を維持するため、大規模建築等の行為を緩やかに規制誘導する届出制度について定めます。また、景観法に基づく制度の活用を視野に入れ、諸制度を計画で位置付けます。

第3編は、本市が進めている「市民協働・都市内地域分権」の考え方に基づき、今後景観計画を一層充実し、景観まちづくりを推進するため、登録・支援制度や提案制度を定め、協働の仕組みを整えます。

秋田市景観計画の構成図



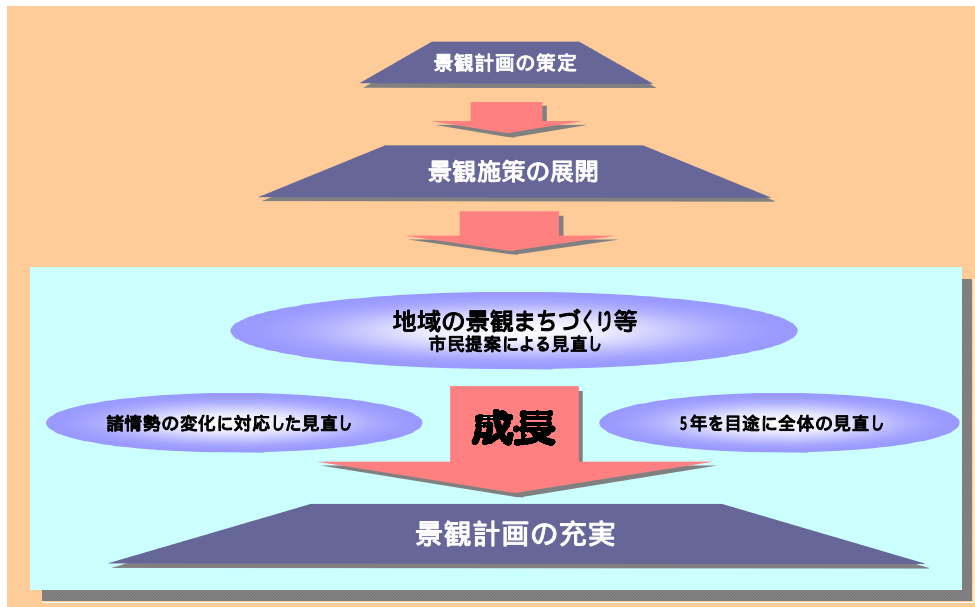
5 景観計画の特徴

(1) 成長型の計画

本市の景観づくりは、住民自治の理念に基づき、市民の積極的な参加に主眼を置いています。そこで、本計画は、これまでの施策を継承しつつ、市民の活動を通じた提案を受けることにより、計画内容を徐々に充実させていく成長型の計画として策定しました。

計画内容の充実のため、今後、第3編で定める市民協働の仕組みを通じ、市民協働による景観まちづくりを推進し、提案を積極的に促します。こうして得られた提案に基づき随時計画を見直し、景観法に基づく各種制度等を活用した多様な内容の計画へと成長させるとともに、5年を目途に全体の見直しを図り、市民の景観への意欲の高まりや、本市を取り巻く諸情勢や環境の変化などに対応していきます。

秋田市景観計画の成長イメージ図



(2) 市民協働の景観まちづくりのための仕組みの拡充

景観まちづくりに市民がより積極的に参加できるよう、多様な仕組みを設けました。

また、市民の登録や、活動へ支援の仕組みを設け、地域の積極的な景観まちづくりを推進します。(第3編)

(3) 地域別の景観づくりの方針等の導入

これまで全市一律の方針・基準により規制誘導を行ってきましたが、地域の実情や景観資源に配慮したきめ細かい景観づくりを図るため、地域別の方針・基準を設けました。(第1編第2章)

(4) 「秋田市都市景観形成に関する基本方針」の継承

本市ではこれまで「秋田市都市景観条例」による「秋田市都市景観形成に関する基本方針」に基づき、景観づくりを進めてきました。この基本方針における考え方や方針、基準などを計画に継承しつつ、基準の明確化等、今後の施策に適した形としました。

秋田市景観計画による景観づくりの展開イメージ図



第2章 景観づくりの方針

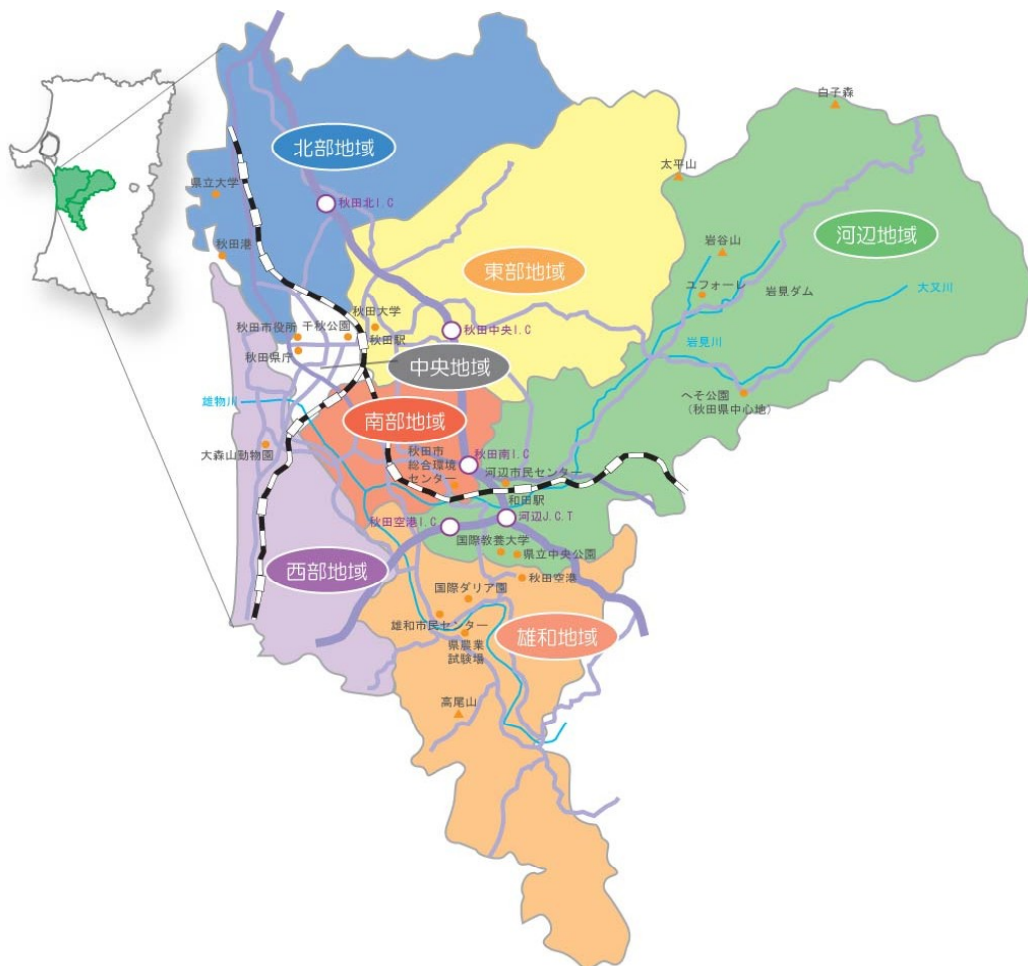
1 景観計画区域

秋田市は、平成17年1月11日に旧河辺町、旧雄和町と合併し、新秋田市として生まれ変わりました。現在の905.67km²に及ぶ広大な市域では、自然や人の手によって作りだされた様々な景観が展開されています。今後、これらを活用・保全し、より良い景観づくりを推進する必要があります。

また、景観法に位置付けられている制度の多くは、景観計画区域内で活用ことができ、今後、本市の様々な地域で景観づくりが展開され、それらの制度が活用できる状況が求められます。

以上のことを考慮して、秋田市全域を景観計画区域とします。

景観計画区域



「秋田市の都市計画2008」(平成20年1月 秋田市都市整備部都市計画課)より抜粋

景観計画区域：景観計画の対象となる区域で、現在の良好な景観を保全する必要がある区域や、今後良好な景観を形成する必要がある区域、また、景観の悪化を防ぐ必要がある区域などを設定することができる。

2 景観づくりの基本方針

本市では、以下の3つの基本方針に従い、地域の景観づくりに取り組みます。

この3つの基本方針は、秋田市都市景観条例に基づく「秋田市都市景観形成に関する基本方針」の考えを継承しています。

(1) 市民協働による景観づくり

市民の主体的、継続的な取り組みによって育まれた「優れた都市景観」は、市民の共有財産として、地域への一体感や愛着や誇りなどを醸成します。これを推進するため、市民協働による景観づくりに努めます。

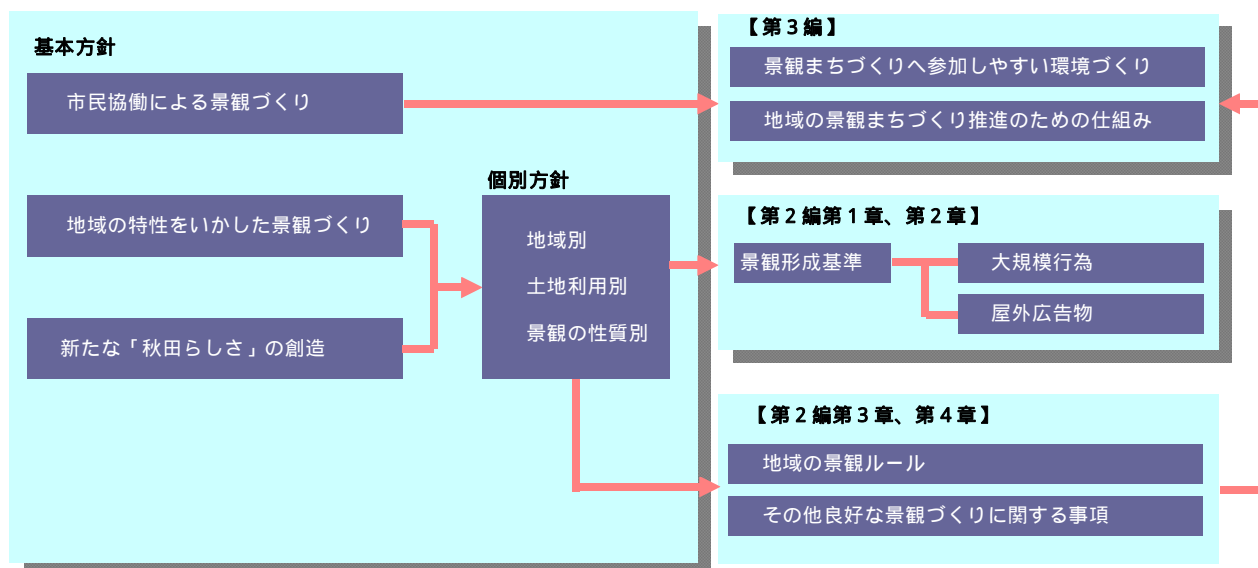
(2) 地域の特性をいかした景観づくり

歴史、文化、伝統や、それらによって培われてきた人々の営みや習慣、また、豊富な自然など、長い年月の間親しまれ、受け継がれてきた地域の特性に配慮し、地域らしさを育て、次世代に継承する景観づくりに努めます。

(3) 新たな「秋田らしさ」の創造

市民一人ひとりが自ら創意工夫することで生まれる新しい発想により、県都にふさわしい風格と魅力のある景観づくりに努め、新たな「秋田らしさ」の創造をめざします。

また、景観づくりの目標と3つの基本方針のつながり、それらに基づき景観づくりを進めるための具体的な方策とのつながりは、下図のとおりです。



3 景観づくりの個別方針

(1) 景観の視点

本市では、「景観」を「視覚に映る眺め」と「それによってもたらされる人々の印象や感じられる雰囲気」の総合したものであると捉えます。

「視覚に映る眺め」は、海、山、川など都市をとりまく自然的要素と建築物、道路、都市で活動する人々や車などの社会的要素の景観要素により分けられます。

「眺めによってもたらされる人々の印象や感じられる雰囲気」は緑、水辺、歴史などの眺めの対象に属する性質によって分けられます。

また、ある一定の場所の景観を捉えようとする場合、その場所での景観要素の分布と配置が景観を決定づける主な要因となり、その場所の地理的な位置・条件や土地利用の規律・制約に深く関わっています。

そこで、本計画では、「地域別」、「土地利用別」、「景観の性質」別の3つの視点から景観づくりの方針を定めます。

景観要素

住宅、農地、商業、工業、公園、街路、道路、橋、寺社、その他施設	社会的景観要素
海、山林、原野、河川	自然的景観要素

地域

中央、東部、西部、南部、北部、河辺、雄和

土地利用

住居系（用途地域が「住居専用地域」） 商業系（「近隣商業地域」「商業地域」） 工業系（「準工業地域」「工業地域」「工業専用地域」） 公園（都市施設の「公園」「緑地」「墓園」） 集落（市街化調整区域または都市計画区域外で、人が集まり住んでいる地域） 農耕地（「田園等の農地である地域」）	社会的土地利用
山林（市街化調整区域又は都市計画区域外で、土地利用されていない地域）	自然的土地利用

景観の性質

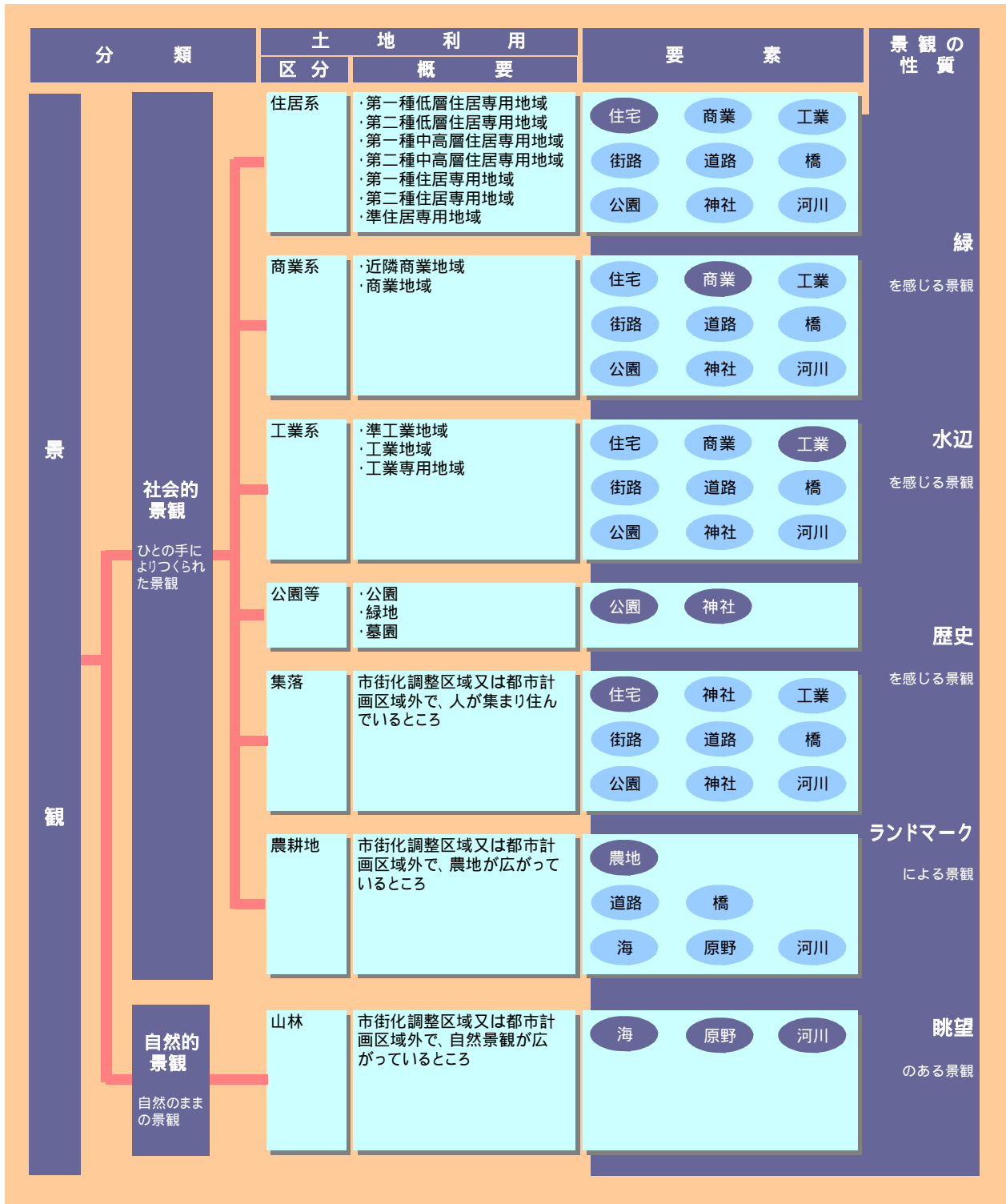
緑、水辺、拠点、歴史、眺望	社会的・自然的両方
---------------	-----------

本計画では、便宜上、人の手によるものを「社会的」、人の手によらない自然のままのものを「自然的」と分類・区別しています。

景観：「景」とは、海、山、川、街並み、人、車など、眺められるあらゆる対象。「観」とは、これらを人が眺める行為。よって「景観」は、眺められる対象と眺める人との相互関係によって成り立つことから、視覚に映る眺めを意味するだけでなく、それによってもたらされる人々の印象や感じられる雰囲気をも表す言葉。

都市景観：海、山、川など都市をとりまく自然的要素と、建築物、道路、都市で活動する人々や車などの社会的要素が視覚に映る風景を主体として、歴史、文化、伝統やそれらによってもたらされる印象や雰囲気をも反映した総合的な「見える環境」を表す言葉。「都市景観」は都市環境を構成する重要な要素であり、「優れた都市景観」は私たち市民の共有財産。

景観分類のイメージ図



(2) 地域別方針

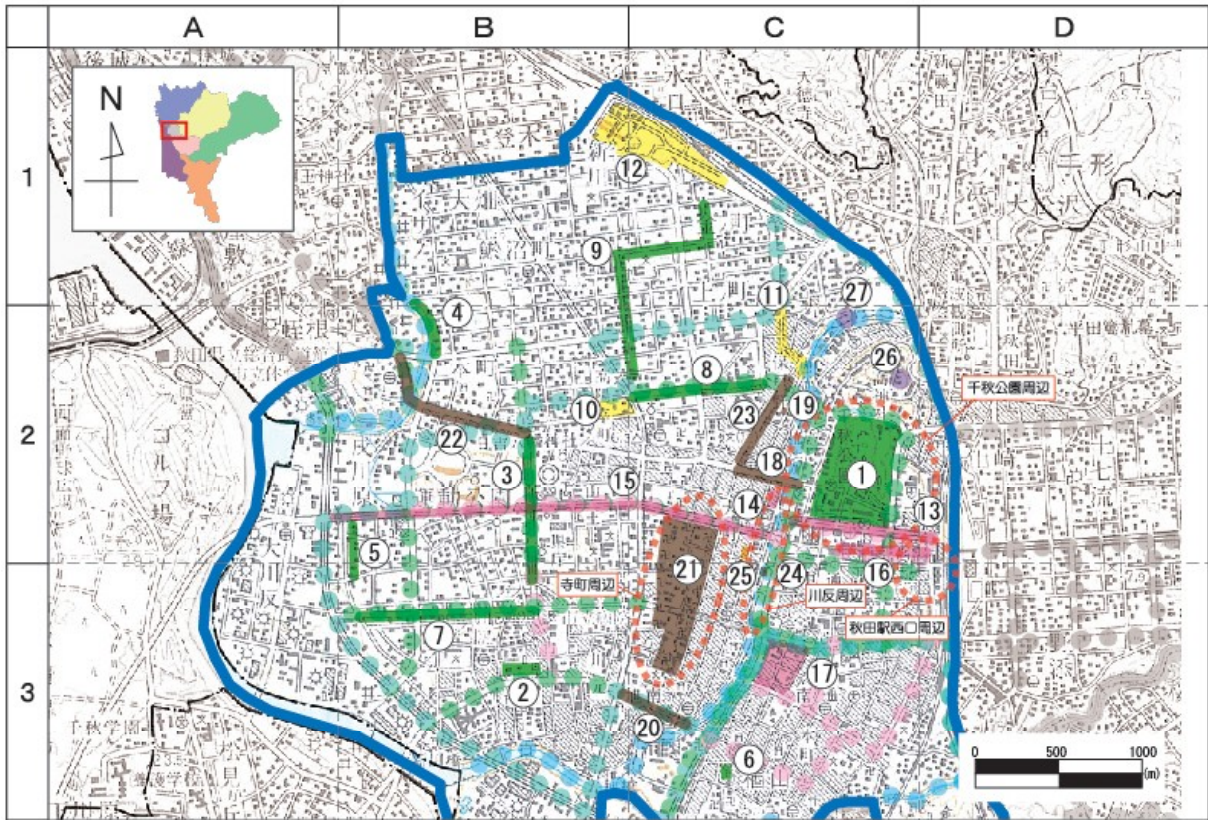
市域を概観すると、それぞれの地域では人びとの多様な社会活動を通じて形成されたまちなみや固有の景観資源などにより、特色のある景観を形作っています。ここでは、地域の景観の違いに着目し、中央・東部・西部・南部・北部・河辺・雄和の7つの地域に分け、それぞれの地域の現状を明らかにするとともに、景観づくりの方針を定めます。

7地域の区割り図



中央地域

1 中央地域の景観資源



<p>1 千秋公園周辺 C-2</p> <p>市街地に潤いを与え、緑のランドマークとして親しまれている。</p>	<p>2 総社神社 B-3</p> <p>住宅地の中にある巨木に覆われた緑地景観。</p>	<p>3 けやき通り B-2</p> <p>道の両側と真ん中にけやきが見事に並び、官庁街に潤いをもたらしている。</p>	<p>4 コスモスロード B-1.2</p> <p>草生津川の水面と桜並木が調和し、見事な景観を創り出している。</p>
<p>5 臨海遊歩道グリーンベルト B-2</p> <p>深い緑に覆われた散歩道が山王の住宅街に潤いをもたらしている。</p>	<p>7 御休通り B-3</p>	<p>10 高陽の家並み B-2</p>	<p>13 広小路 C-2</p> <p>中心市街地の賑わいと千秋公園お堀の潤いを要素とする商業地の景観。</p>
<p>6 鹿嶋神社の御神木 C-3</p> <p>社殿向かいの御神木と周りの水辺景観が住宅地に潤いを与えている。</p>	<p>8 保戸野学園通り C-2</p>	<p>11 保戸野八丁の通り C-2</p>	<p>17 有楽町周辺 C-3</p> <p>煉瓦造りの建物、町屋風の店舗、保存樹、公園など様々な要素が楽しめる。</p>
<p>14 アクラ周辺 C-2</p> <p>伝統建築の趣を活かした賑わい空間。</p>	<p>15 山王大通り B,C-2</p> <p>整然としたビル景観がオフィス街らしい雰囲気をつくりだしている。</p>	<p>12 泉ハイタウン B,C-1</p>	<p>18 通町 C-2</p> <p>江戸時代の町割を継承し、伝統建築と近代建築が融合した美しい商店街。</p>
<p>19 秋田聖救主教会 C-2</p> <p>洋風宗教建築がランドマークとなり、住宅街に風情を与えている。</p>	<p>20 馬口労働通り C-3</p> <p>松倉家住宅を始めとする明治時代の町屋が商店の間に残り、趣を醸し出している。</p>	<p>21 寺町 C-2.3</p> <p>寺院が建ち並び、緑に囲まれたやすらぎのある通りをつくりだしている。</p>	<p>23 菊谷小路 C-2</p> <p>歴史的な町割に加え、北側を望むと遠景に山並みが楽しめる。</p>
<p>25 赤れんが館 C-2</p> <p>明治後期の煉瓦造りの洋風建築。堂々たる雰囲気からランドマークとなっている。</p>	<p>26 北の丸から見える太平山 C-2</p> <p>遮るものない視野に、太平山の裾野の広がりが見渡せる。</p>	<p>27 旭川から見える太平山 C-2</p> <p>蛇行する旭川の背後に太平山がそびえる眺望ポイント。</p>	<p>凡例</p> <p>景観要素の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然の景観 ● 業務地景観 ● 拠点景観 ● 地域の景観特性 ● 住宅地景観 ● 歴史的景観 ● 眺望景観 <p>● 緑化重点地区 ● 緑のネットワーク ● 木のネットワーク ● 緑のネットワーク ● 風致地区</p>

2 中央地域における景観づくりの方針

全体方針

中央地域は、行政、経済、産業などの各種機能が集積し、本市都市機能の中枢をなす多様な景観を有する地域です。

社会的景観として、歴史・緑の要素を含む商業空間や街路空間が景観資源として多く、これらをいかし、また、旭川が流れる旧城下町の特徴をいかした景観づくりを目指します。特に「緑の基本計画」で緑化重点地区に指定されている「秋田駅周辺地区」については、本市の顔を形成し、かつ、商業・業務ビルや共同住宅等の大規模建築物等による景観の変化の大きい地区であることから、都市緑化の推進や、適切な大規模建築の誘導、良好な居住環境の整備等により、魅力的な空間づくりを図ります。

自然的景観として、太平山を望む眺望景観があり、これらの眺望点の保全を目指します。

中央地域の特性への配慮

秋田駅西口周辺

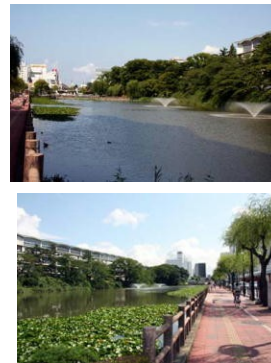
県都の玄関口であり、秋田市の顔を意識した建物ファサードや看板のデザイン等により、魅力ある景観形成を図ります。また、沿道の緑化等によるうおいのある景観や、安全で雰囲気ある夜間景観の創出を図ります。



建物のファサード、スカイライン、外壁の色彩や、看板のデザインなど、にぎやかさを演出しているものの、景観を阻害する要因にもなっているため、景観への配慮が必要です。また、県都の玄関口にふさわしい、秋田らしさの創出のため、秋田杉の活用などによる工夫が必要です。

千秋公園周辺

公園の緑地や水辺をいかした景観の形成を図るとともに、商業・教育施設等が立地するお堀周辺では、公園との連続性に配慮した景観の形成を図ります。



久保田城跡である千秋公園は、市街地に貴重な緑や花と水辺の空間を提供している美しい公園として市民に親しまれ利用されています。また、本市の代表的な観光資源にもなっています。

川反周辺

旭川をいかした水辺景観の形成を図ります。



旭川やケヤキの大木などがうおいや安らぎを与えていますが、これらと一帯となった景観づくりが十分でないところも見られます。市街地の貴重な水辺景観であり、川などをいかした景観づくりが必要です。

寺町周辺

境内の緑と落ち着いた雰囲気を持つ景観の形成を図ります。



境内の豊かな樹木の緑の空間が、落ち着いた雰囲気のある歴史的な雰囲気を醸し出しています。

歴史的建造物等

歴史的建造物等の保全や活用に努め、歴史的な雰囲気を継承した景観の形成を図ります。



赤れんが郷土館や旧金子家住宅等の歴史的建築物がまちなみに落ち着いた雰囲気を与えています。

太平山への眺望

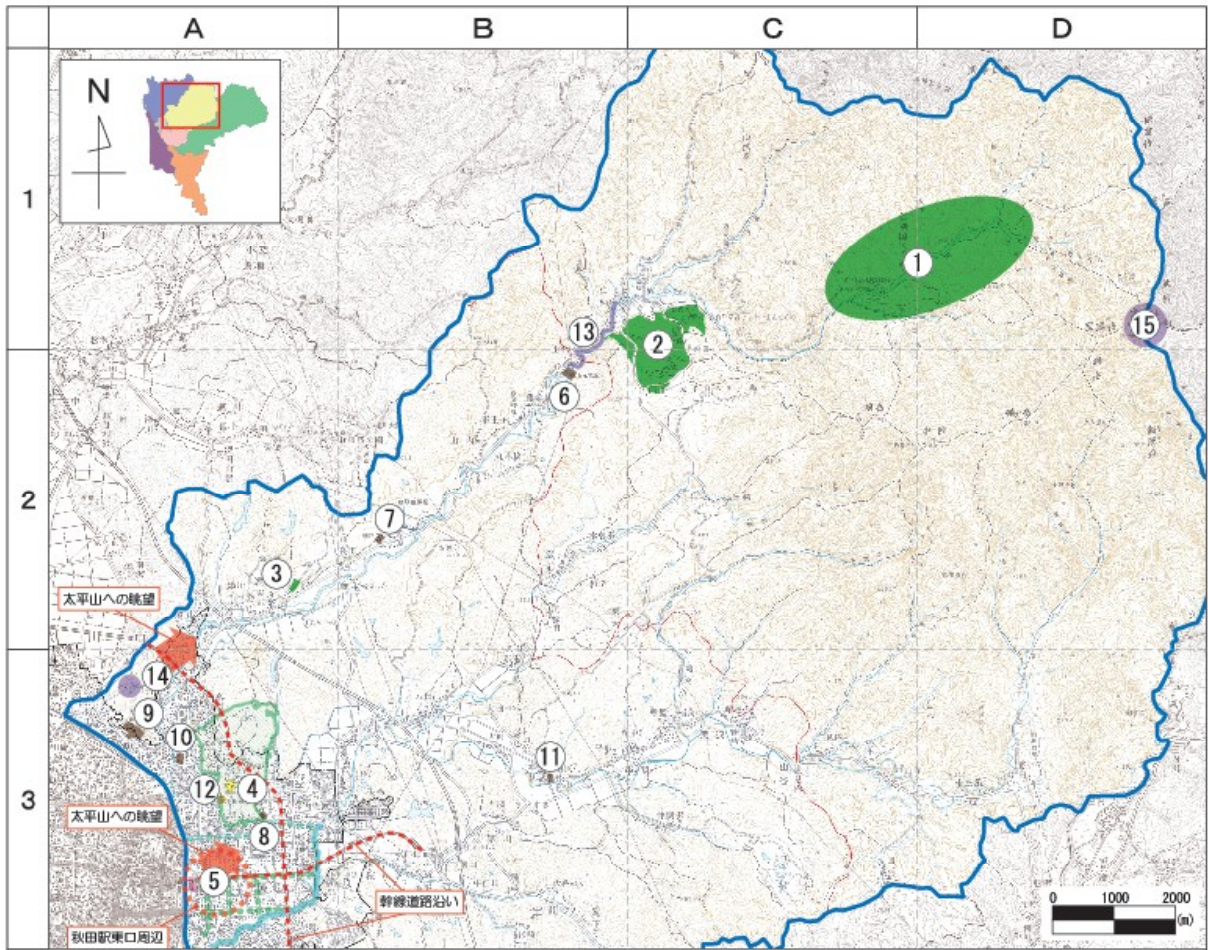
太平山への眺望を配慮した景観づくりを進めます。



千秋公園や旭川など太平山を望むことのできる点が存在します。

東部地域

1 東部地域の景観資源



<p>① 仁別国民の森 C-D-1</p> <p>太平山西麓の美しい保護林。旭川沿いの道を走ると、太平山登山口の旭又にたどり着く。</p>	<p>② 太平山リゾート公園 C-1.2</p> <p>豊かな自然の中に、温水浴施設、スキー場、植物園、学習センターなどを備える。</p>	<p>③ 聖体奉仕会マリア庭園 A-2</p> <p>草原を杉林が縁取る。聖書の物語を辿りながら散策できる仕掛けがある。</p>	<p>④ 県営住宅手形山1号 A-3</p> <p>木の温もりを感じさせ、植栽された樹木と共に周辺の環境と調和した集合住宅。</p>
<p>⑤ 秋田駅東口周辺 A-3</p> <p>アルヴェとNHKがシンボリックな建物となっている。</p>	<p>⑥ 藤倉水源地下水道施設 B-2</p> <p>歴史を感じさせる古い祖石コンクリート造りのダム。(全国初の近代化遺産)</p>	<p>⑦ 補陀寺 B-2</p> <p>山間地の杉林の中に静かなたたずまいを見せる、秋田最古の曹洞宗禅寺。</p>	<p>⑧ 太平山三吉神社 A-3</p> <p>市街地に面した手形山風致地区南東部外縁にある、凛とした神聖な景観。</p>
<p>⑨ 天徳寺 A-3</p> <p>市街地外縁部に位置する歴史的景観。旧秋田藩主・佐竹家代々の菩提寺となっている。</p>	<p>⑩ 如斯亭 A-3</p> <p>旭川に隣接する市街地内に位置する名園。ツツジやモミジが美しい。(国指定名勝)</p>	<p>⑪ 嵯峨家住宅 B-3</p> <p>集落の中にあり、江戸末期の歴史的景観を残す古民家建築。(国指定重要文化財)</p>	<p>⑫ 鉱業博物館 A-3</p> <p>円柱と直方体を組み合わせた特徴的な現代建築。春には桜のトンネルが見事。</p>
<p>⑬ 仁別渓谷 B-1.2</p> <p>杉、ブナの原生林がある良好な自然環境。カモシカも生息する。</p>	<p>⑭ 天徳寺山墓地公園 A-3</p> <p>丘陵地にある公園。中央広場の平和塔は、市内各所からシンボリックに眺められる。</p>	<p>⑮ 太平山 D-1</p> <p>天然の杉とブナに覆われ、四季折々の美しい山容を市内各所から眺められる。</p>	<p>凡例</p> <p>景観要素の分類</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自然的景観 ● 業務地景観 ● 拠点景観 ● 緑化重点地区 ● 水ネットワーク ● 緑のネットワーク ● 住宅地景観 ● 歴史的景観 ● 眺望景観 ● 花のネットワーク ● 風致地区 <p>●●● 地域の景観特性</p>

2 東部地域における景観づくりの方針

全体方針

東部地域は、近年の秋田駅東地区の都市基盤整備などにもなう急速な市街化により、景観も大きく変化している地域です。

社会的景観では、アルヴェなどランドマークとなる現代的な施設などがあります。また、緑の景観となる景観資源も多く、今後はランドマークとなる施設等の緑化に配慮した景観づくりを目指します。特に「緑の基本計画」で緑化重点地区に指定されている「秋田駅周辺地区」については、本市の顔を形成し、かつ、商業・業務ビルや共同住宅等の大規模建築物等による景観の変化の大きい地区であることから、都市緑化の推進や、適切な大規模建築の誘導、良好な居住環境の整備等により、魅力的な空間づくりを図ります。

自然的景観では、太平山をはじめとする山林による雄大な景観が展開し、太平山への眺望点も豊富であり、これらの保全を目指します。

東部地域の特性への配慮

太平山への眺望

太平山への眺望を配慮した景観づくりを進めます。

秋田駅東口や天徳寺山墓地公園など、地域の多くの場所で太平山を見ることができます。



秋田駅東口周辺の商業地

県都の新たな玄関口であり、秋田市の顔を意識した建物ファサード等により、魅力ある景観形成を図ります。



秋田駅東地区の都市基盤整備などにより、新たな商業地景観形成が進んでいます。県都の玄関口にふさわしい、風格と魅力ある景観を形成していくことが必要です。

幹線道路沿い

市街地での沿道の店舗は、駐車場を含めた施設周辺の緑化に努め、全体として統一感ある商業地景観づくりに努めます。

田園・山林等に面する区域では、野立広告板等の乱立による景観の悪化を抑止します。



秋田駅東中央線や横山金足線等は、市街地では沿道型商業施設が立ち並び、シンボルロードにふさわしい景観の形成が望まれます。田園・山林等に面する区域では、野立広告板等による景観の阻害が見受けられ、景観を阻害しないよう配慮が必要です。

歴史的建造物周辺

建造物等の維持・保全と、その周辺住民の理解と配慮による、その雰囲気や歴史を継承に努めます。



佐竹氏の菩提寺・天徳寺が建つ泉と、初代藩主の父義重菩提所・闍信寺や佐竹氏別邸であった如斯亭のある手形には、由緒ある史跡やお寺が点在しています。

市街地と太平山の間広がる丘陵

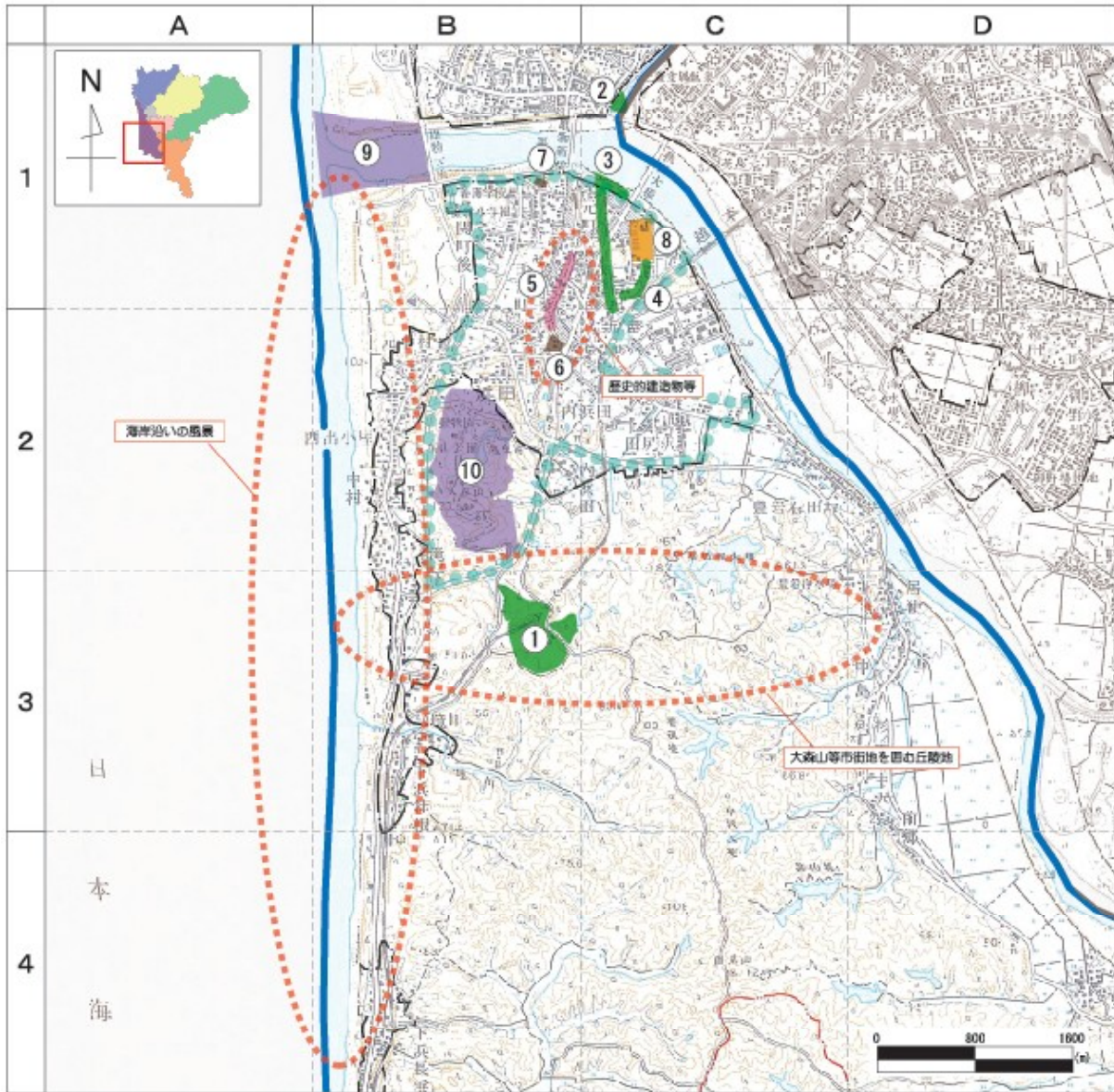
丘陵を構成する樹林の保全・継承により市街地へ緑景観の潤いを与え、田園景観と一帯となった雄大な景観づくりに努めます。



市街地と太平山の間で丘陵が広がり、市街地へ緑景観の潤いを与えるとともに、田園景観と一帯となった雄大な景観を形成しています。

西部地域

1 西部地域の景観資源



<p>1 浜田森林公園 B-3</p>  <p>様々な種類の樹木が栽培され、美しい森が形成されている。</p>	<p>2 三角沼 C-1</p>  <p>かつて幾度となく氾濫した旧淀物川の川筋の名残を留める水辺景観。</p>	<p>3 大川端帯状公園 C-1</p>  <p>製紙工場の排水がせせらぎに生まれ変わり、住宅地を横切る公園を形成している。</p>	<p>4 大川散歩道 C-1</p>  <p>沿道の木々が、住宅街の交差点に四季折々の彩りを添えている。</p>															
<p>5 新屋表町通り B-1.2</p>  <p>町屋や酒蔵、湧水に彩られた、歴史情緒が漂う通りである。</p>	<p>6 日吉神社 B-2</p>  <p>新屋表町通りの南端にある。背の高い木々と鳥居が凛とした雰囲気を感じさせている。</p>	<p>7 栗田神社 B-1</p>  <p>松林の中に鳥居と社殿が鎮座し、道行く人々にやすらぎの風景をもたらしている。</p>	<p>8 美術工芸短大 C-1</p>  <p>蔵の土壁と現代建築のコンクリートや金属が好対照をなし、独特の景観となっている。</p>															
<p>9 雄物川河口 B-1</p>  <p>広がる空と水面、太平洋山、男鹿半島、鳥海山まで見渡せる雄大な風景。夕焼けが美しい。</p>	<p>10 大森山 B-2</p>  <p>頂上の展望台から市街地が一望できる。雨上がりの虹が見事。</p>	<p style="text-align: center;">凡 例</p> <p style="text-align: center;">景観要素の分類</p> <table border="0"> <tr> <td>■ 自然的景観</td> <td>■ 住宅地景観</td> <td>● 緑化重点地区</td> </tr> <tr> <td>■ 業務地景観</td> <td>■ 歴史的景観</td> <td>● 緑のネットワーク</td> </tr> <tr> <td>■ 拠点景観</td> <td>■ 眺望景観</td> <td>● 水のネットワーク</td> </tr> <tr> <td>- - - 地域の景観特性</td> <td></td> <td>● 花のネットワーク</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>■ 風致地区</td> </tr> </table>		■ 自然的景観	■ 住宅地景観	● 緑化重点地区	■ 業務地景観	■ 歴史的景観	● 緑のネットワーク	■ 拠点景観	■ 眺望景観	● 水のネットワーク	- - - 地域の景観特性		● 花のネットワーク			■ 風致地区
■ 自然的景観	■ 住宅地景観	● 緑化重点地区																
■ 業務地景観	■ 歴史的景観	● 緑のネットワーク																
■ 拠点景観	■ 眺望景観	● 水のネットワーク																
- - - 地域の景観特性		● 花のネットワーク																
		■ 風致地区																

2 西部地域における景観づくりの方針

全体方針

西部地域は、良好な住宅地とこれに隣接した商業地や工業団地といった多様な社会的景観を抱え、山林をはじめとする豊かな自然的景観を有した地域です。

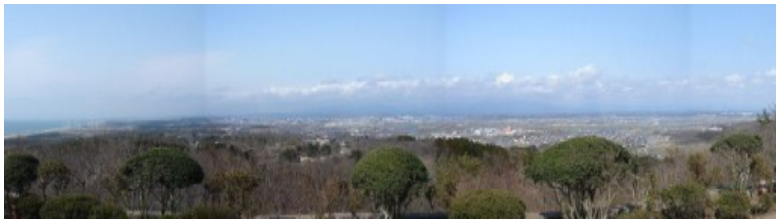
社会的景観では、公園や寺社による緑の景観が豊富であり、これらを保全・活用した景観づくりを目指します。

自然的景観では、日本海や雄物川を背景とする豊富な水辺景観が特徴的であり、これらに配慮した景観づくりを目指します。

西部地域の特性への配慮

大森山等市街地を囲む丘陵地

丘陵地の緑の保全を一層推進し、良好な景観づくりを図ります。また、市街地から丘陵地、丘陵地から市街地への眺望景観に配慮します。



斜面緑地が市街地からの眺望対象として重要な景観資源となっています。また、それらの丘陵地からは市街地を見渡すことが出来る眺望を有しています。

歴史的建造物等

建造物等やそれらを囲む緑の維持・保全や、その雰囲気を継承した地域の景観づくりに努めます。



日吉八幡神社等の歴史的文化的な建物やそれらを取り囲んでいる緑が趣のある景観をつくりだしています。また、新屋表町通りでは地域の取り組みにより歴史的建造物等をいかした線的な景観づくりが展開されています。

海岸沿いの景観

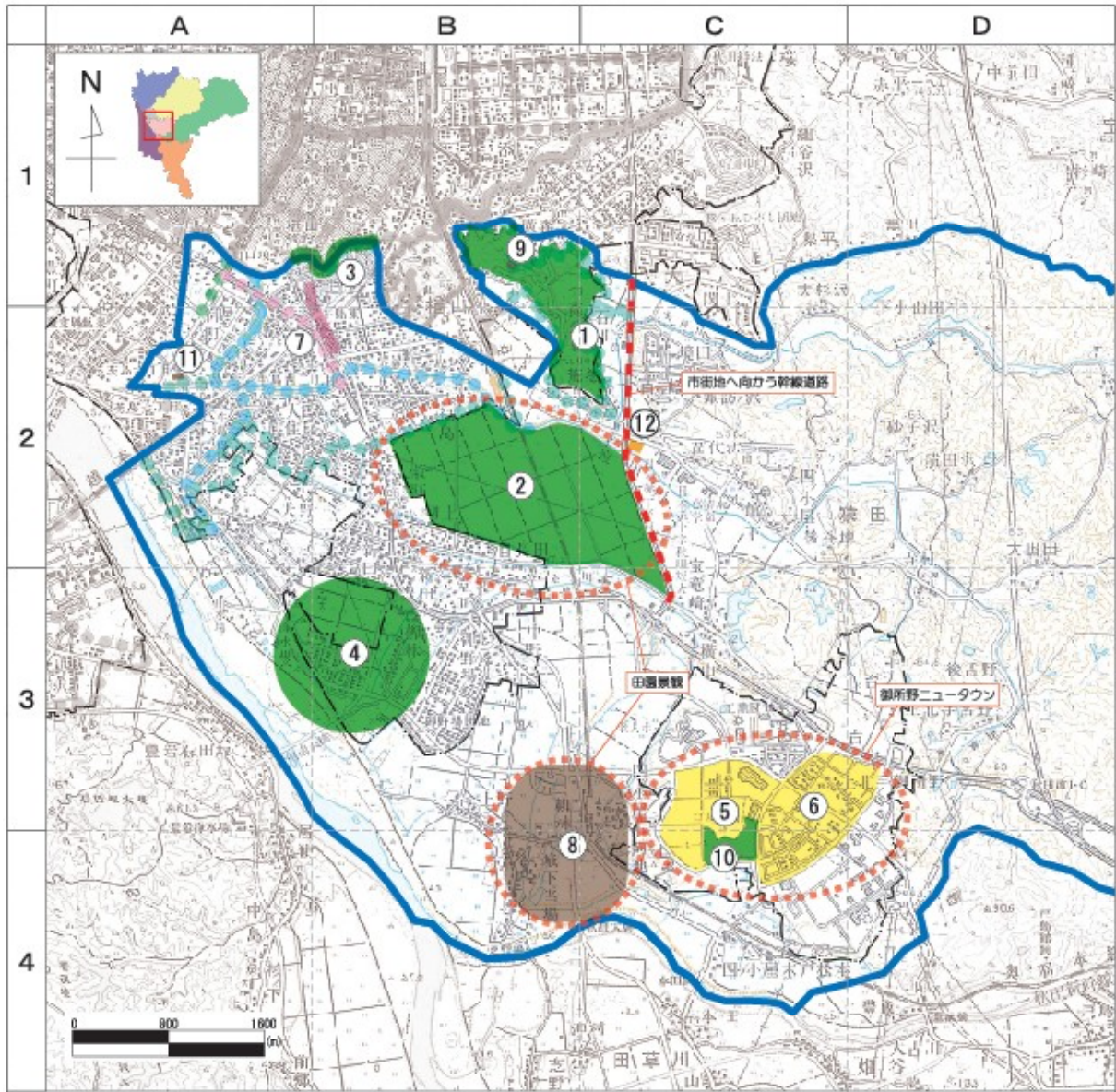
海岸沿いのクロマツの保安林による緑景観、美しい水辺景観の形成を図ります。



新屋海浜公園・桂浜海水浴場・下浜海水浴場を結ぶ海岸線は美しい砂浜と松林が連なり、クロマツによる保安林は、海と一体となった雄大な景観を創出しています。

南部地域

1 南部地域の景観資源



<p>① 一つ森公園 B-1,2</p>  <p>市街地と田園に囲まれた、小高い丘陵地にある公園。</p>	<p>② 仁井田の田園風景 B,C-2</p>  <p>市街地の外縁部に広がる田園風景。米どころ秋田を象徴する景観。</p>	<p>③ 太平川沿いの桜並木 A,B-1</p>  <p>桜並木が2kmに渡って続き、市街地に水と緑の潤いを添えている。</p>	<p>④ 落畑 A,B-3</p>  <p>地域の農家が耕作している畑。高さ1.5m、直径1mを超える秋田藩が群生する姿は圧巻。</p>						
<p>⑤ 御所野総合公園 C-4</p> <p>新興住宅地の南側に計画的に開発・整備された、広がりのある緑地景観。</p>	<p>⑦ 牛島商店街 B-2</p>  <p>明治から昭和初期の店舗が数多く現存する、かつての秋田の商店街の原風景。</p>	<p>⑧ 仁井田堰 B,C-3,4</p>  <p>17世紀に建設された新田開発のための水路。安らぎを得られる水辺の景観である。</p>	<p>⑨ 旧黒澤家住宅 B-1</p>  <p>一つ森公園に移築された江戸時代の武家屋敷。周囲の緑にとけ込んでいる。</p>						
<p>⑩ 地藏田遺跡 C-4</p> <p>御所野総合公園にある、旧石器・縄文・弥生時代の住居を復元した歴史的景観。</p>	<p>⑫ 遊学舎 C-2</p>  <p>昭和初期の住宅と、かつての町屋を際立たせた平成の木造建築が調和した景観。</p>	<p>凡例</p> <p>景観要素の分類</p> <table border="0"> <tr> <td>■ 自然的景観</td> <td>■ 住宅地景観</td> </tr> <tr> <td>■ 業務地景観</td> <td>■ 歴史的景観</td> </tr> <tr> <td>■ 拠点景観</td> <td>■ 眺望景観</td> </tr> </table> <p>●●● 緑化重点地区 ●●● 緑のネットワーク ●●● 水のネットワーク ●●● 花のネットワーク 地域の景観特性 風致地区</p>		■ 自然的景観	■ 住宅地景観	■ 業務地景観	■ 歴史的景観	■ 拠点景観	■ 眺望景観
■ 自然的景観	■ 住宅地景観								
■ 業務地景観	■ 歴史的景観								
■ 拠点景観	■ 眺望景観								

2 南部地域における景観づくりの方針

全体方針

南部地域は、御所野ニュータウンなどの宅地造成により、新しい住宅地景観の形成が進んでいる地域です。

景観資源が社会的景観から構成されているところが特徴的であり、良好な住宅地景観や、田園や公園などによる緑景観が豊富です。今後の地域整備に伴う多様な景観の展開に際し、緑景観の豊富さを推進した景観づくりを目指します。

南部地域の特性への配慮

御所野ニュータウン

地域のまちづくりルールと連動し、各家々の生垣等の緑や草花による緑化等による計画的で良好な住宅地の景観形成をより推進します。



地域のまちづくりルール（地区計画や緑地協定等）により良好な住居環境の推進が図られています。

田園景観

田園景観との一体感に配慮し周囲と調和した景観の形成を図ります。



郊外に良好な農地が広がり、季節感あふれる景観を創出しています。

市街地へ向かう幹線道路等

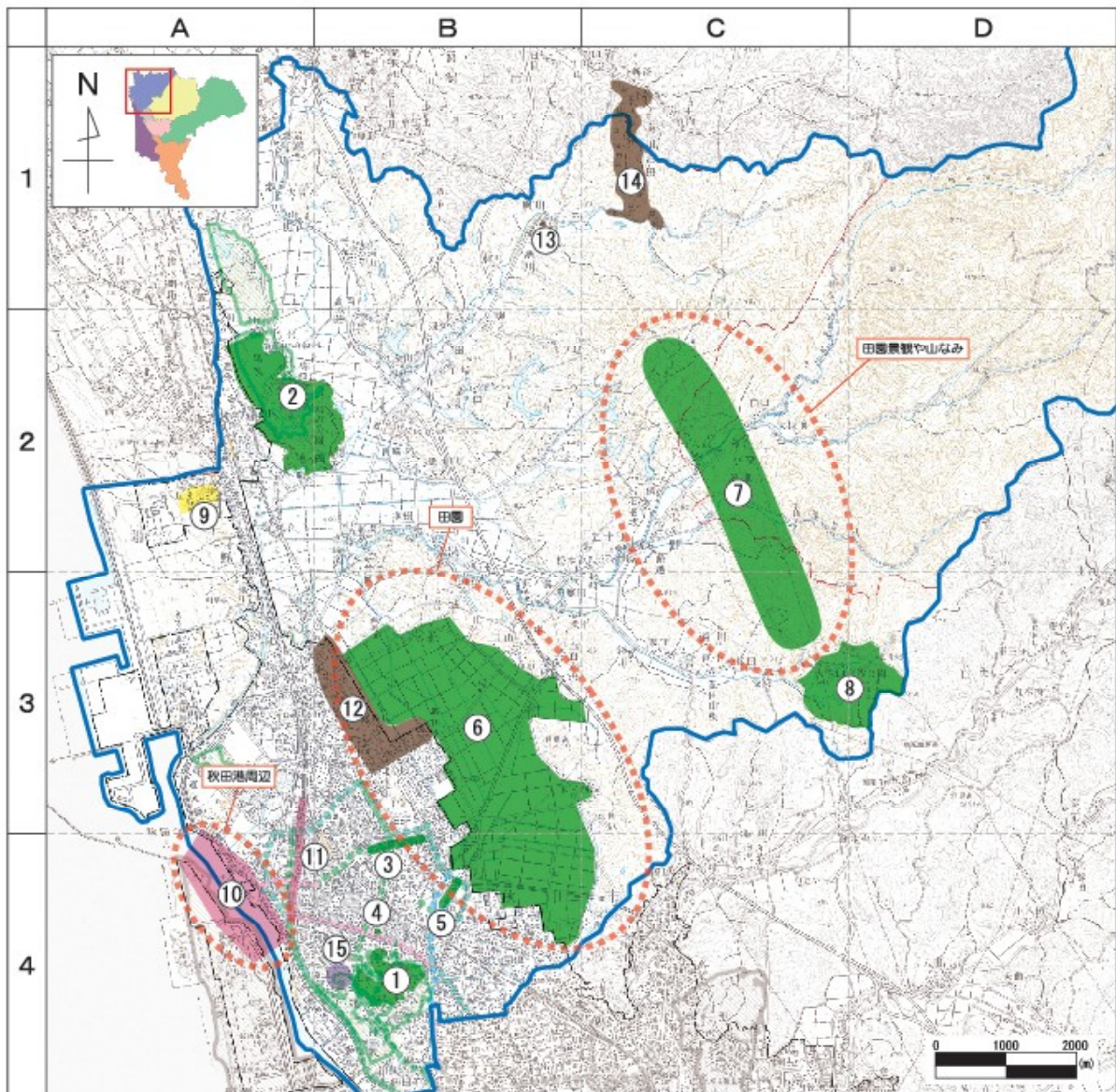
沿道への野立広告板等の乱立を防ぎ、広がる田園景観への眺望、市街地への眺望に配慮するよう努めます。

御所野地区の国道13号や横山金足線等は、雄大な田園景観が広がり、さらに市の中心市街地を眺望でき、市街地に入る際の第一印象を与える景観的に重要な地点となっていますが、野立広告板等により景観が阻害されているところが見受けられるため、景観を阻害しないよう配慮が必要です。



北部地域

1 北部地域の景観資源



1 高清水公園 B-4



豊かな緑、復元された秋田城趾東門、空葉沼などの多様な景色を堪能できる。

2 小泉湯公園 AB-2



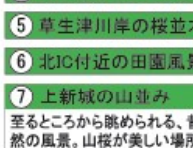
温泉と周囲の旧家とが調和し、独特な自然・農村の風景となっている。

3 四ッ屋街道のイチョウ並木 B-4



道の両側に並ぶイチョウが見事。その先には太平山がそびえ、美しい景観をつくっている。

4 將軍野南三丁目の3本の松 B-4



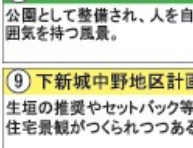
道生津川岸の桜並木 B-4

北IC付近の田園風景 B-3.4

7 上新城の山並み C-2.3

至るところから眺められる、昔と変わらぬ自然の風景。山桜が美しい場所もある。

8 大滝山自然公園 C.D-3



公園として整備され、人を自然へと誘う雰囲気を持つ風景。

10 港の風景 A-4



土崎側には倉庫、運河の向こうには工場や貨物船が展望できる壮大な風景。

11 本町通り A-3.4



港町・土崎のメインストリート。所々に残る昔ながらの商家建築を堪能できる。

12 飯島に残る農村風景 B-3



昔ながらの農家の倉庫が現存し、入り組んだ道のあちこちに農村風景が残っている。

13 三浦家住宅 B-1



屋敷林の中の蔵かな館が、農業集落のアクセントとなっている。

14 黒川油田 C-1



かつて日本最大の噴出量を誇り、昭和初期まで栄えた産油地の名残を留める。

15 旧国道から見える港 B-4



坂の途中から見渡せる青い海は、かつての秋田城と港の賑わいを彷彿させる。

凡例

景観要素の分類			
● 自然景観	● 住宅地景観	● 緑のネットワーク	● 緑のネットワーク
● 業務地景観	● 歴史的景観	● 水のネットワーク	● 水のネットワーク
● 拠点景観	● 眺望景観	● 花のネットワーク	● 花のネットワーク
--- 地域の景観特性		■ 風致地区	

2 北部地域における景観づくりの方針

全体方針

北部地域は、重要港湾秋田港、史跡や良質な住宅地、田園、山林などの自然環境を有し多様な景観を持つ地域です。

社会的景観では、街路や歴史的景観となる景観資源が豊富であり、今後は、これらを個々にまた複合的にいかした景観づくりを目指します。

自然的景観では山林による緑の景観が豊富であり、これらの保全を目指します。

社会的・自然的の総合的な景観である秋田港は地域を特徴付ける景観資源であり、これを様々な観点からいかした景観づくりを目指します。

北部地域の特性への配慮

秋田港周辺

緑のうるおいのある工業地景観、より一層のにぎわいのある商業地景観を目指すとともに、水辺景観を活かした親しまれる港町の景観づくりに努めます。



活気のある工業地の景観を呈し、本市の代表的な臨海部の工業地景観となっています。また、セリオンがランドマークとなり、港の水辺とともにうるおいとにぎわいのある景観を形成しています。

歴史的建造物周辺

伝統的な雰囲気を受け継ぎつつ、賑わいと活気のあるバランスの良い景観づくりに努めます。



土崎地区は、古くから港町として栄え、現在も旧羽州街道の周辺には、寺社や商家、町家が点在しています。また、鎮守である神明社の建て替えや駅周辺の道路等の基盤整備など新たなまちづくりに向けた動きも見られます。

並木道

沿道の住民や関係者が歩道の清掃や街路樹等の維持管理などに主体的に取り組むことにより、地域に愛着をもたらす景観形成を図ります。



自衛隊通り、四ツ屋街道、草生津川岸など、桜やイチヨウなどの街路樹によりうるおいとやすらぎのある街路景観が形成されています。

田園景観や山なみ

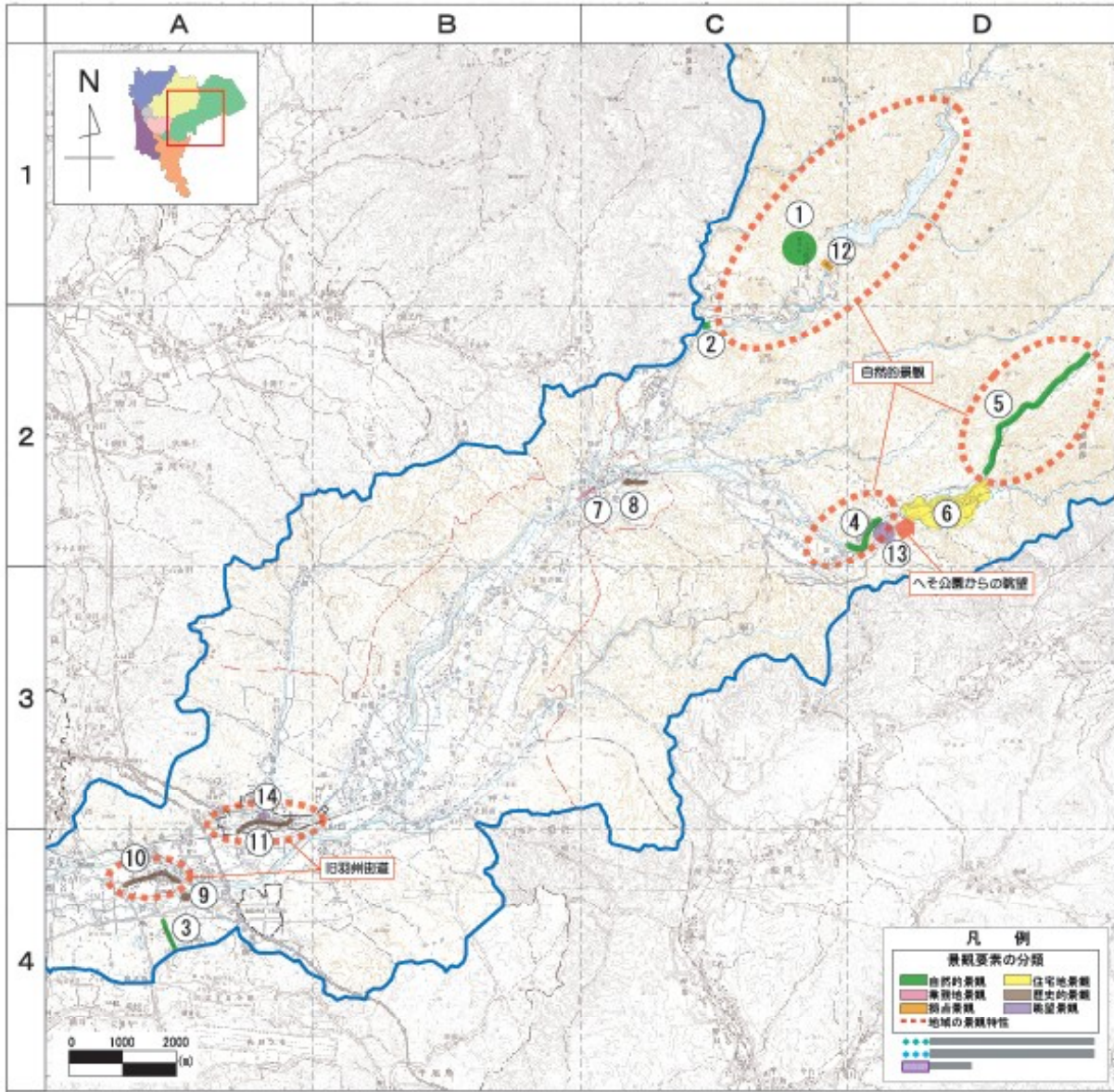
田園景観や眺望景観へ配慮した景観形成を図ります。



郊外に田園風景が広がり、さらに上新城の山なみと相まって雄大な景観が形成されています。

河辺地域

1 河辺地域の景観資源



烏帽子にも似ている緑豊かな姿は見る人にやさずぎを与える。



川とつり橋が一体になって、のどかな風景をつくりだしている。



道の両側に桜の木が並び、春には鮮やかな桜のトンネルができる。



木々の間から見える川の流れが美しく、近くまで行ってみたいくなる光景である。



大又川を遡ると、殿淵、伏伸の滝、舟作といった見事な水辺の景観が見られる。



茅葺き屋根の古い民家、屋敷林、堰などが調和し、心休まる景観をつくりだしている。



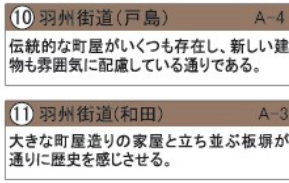
歴史のある町屋や昔懐かしい雰囲気のある商店が並び、穏やかな商店街。



寺院の閑静な姿と、裏手にある岩見館遺跡との緑が調和している。秋には紅葉が美しい。



広がる水田の中にある小高い丘の木々に囲まれ奉られている。



伝統的な町屋がいくつも存在し、新しい建物も雰囲気と配慮している通りである。



緑豊かな谷間に重厚なコンクリートの壁が立ち上がり、迫力のある景観となっている。



広がる田園の向こうに、遠く鶯養が見渡せる。



和田の町を見下ろす眺望景観。



大きな町屋造りの家屋と立ち並ぶ板塀が通りに歴史を感じさせる。

2 河辺地域における景観づくりの方針

全体方針

河辺地域は、太平山の豊かな緑や清らかなせせらぎといった自然景観を有する地域です。社会的景観では、広大な田園景観による眺望景観が展開し、また、旧街道などでは歴史的なまちなみが形成され、これらの保全・継承に配慮し、活用を図った景観づくりを目指します。

自然的景観では、筑紫森などによる山林が豊富で、緑豊かな景観が広がっています。今後、これらを保全した景観づくりを目指します。

河辺地域の特性への配慮

旧羽州街道

歴史的な街並みの雰囲気継承する景観づくりに配慮します。



戸島地区、和田地区ともに通り沿いには歴史を感じさせる建築物が多く存在しています。

へそ公園からの眺望

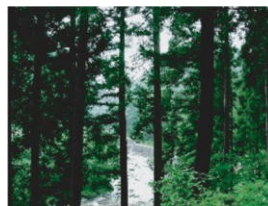
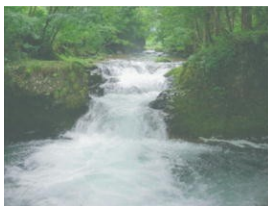
四季毎に表情を変える田園を保全した景観形成を図り、眺望景観の保全に努めます。



広がる田園風景と、田園や小高い山に囲まれた鶴養地区とが調和した雄大な眺望を有しています。

自然的景観

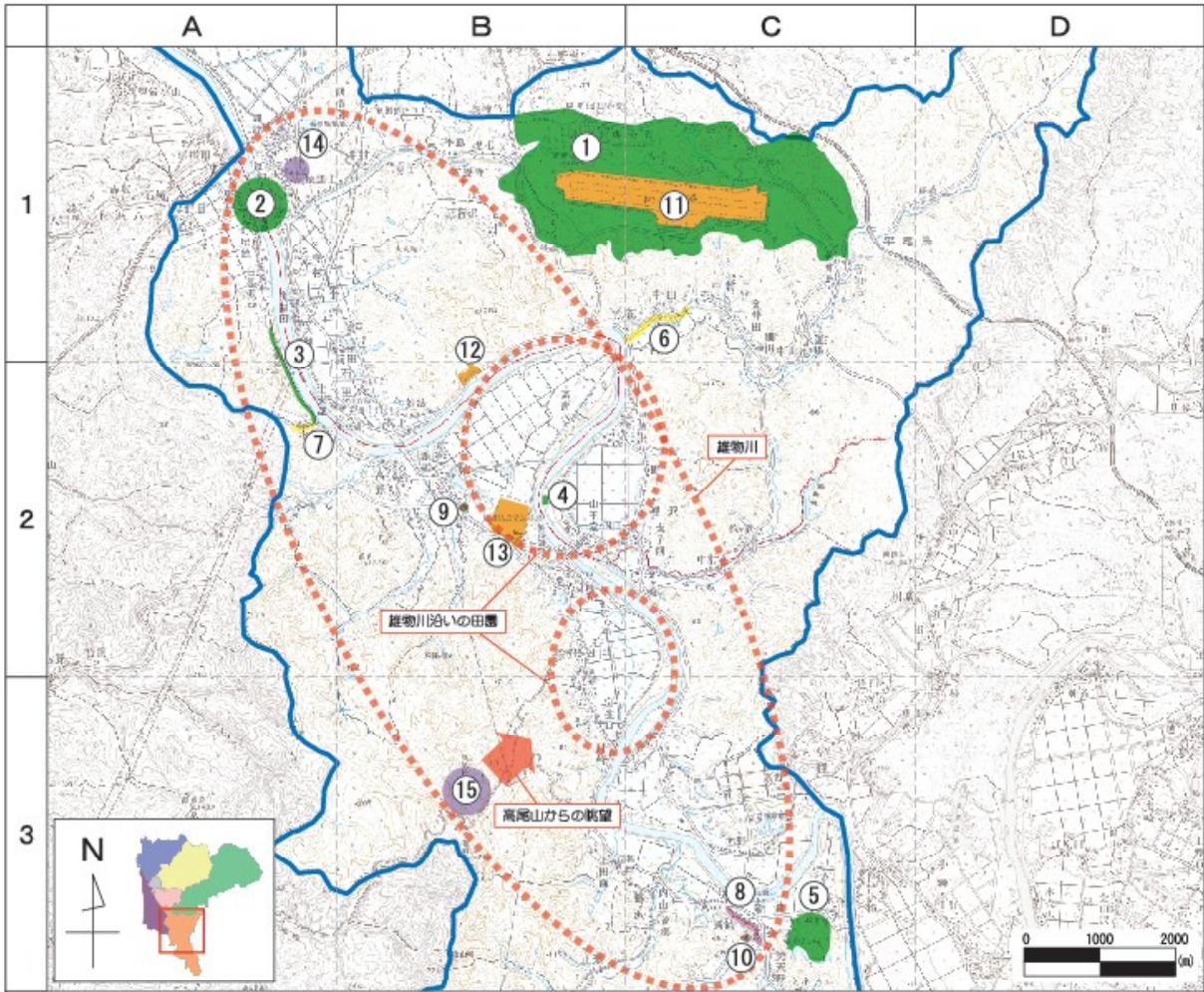
山林や河川等の保全や、それらへの眺望点の保全を図ります。



筑紫森などの山林による豊かな緑や、岩見川や溪谷の美しさにより、地域にうおいとやすらぎを与えています。

雄和地域

1 雄和地域の景観資源



① 県立中央公園 B-C-1



整備された緑地に噴水や東屋がアクセントとして調和し、穏やかな景観をつくりだしている。

② 黒瀬橋から見える雄物川 A-1



水面から高くなった橋の上から蛇行する川筋と河岸の緑地が展望できる。

③ 白根館跡ふもとの桜並木 A-1.2



雄物川沿いの桜並木が細い道路の曲線に調和し、美しい景観をつくっている。

④ 種沢カヌー船着場 B-2



雄物川中流域に位置する船着場。河岸の木陰の先に空と水面が広がる。

⑤ 竹の花公園 C-3



大規模水面の眺めや、竹の花の一本松などの眺望が楽しめる。

⑥ 平尾島 C-1



広がる水田の辺縁にどっしりとした木造の農家が見え、農村の原風景を留めている。

⑦ 水沢集落 A-2



東に八幡神社、西に総島に囲まれた集落。変貌しつつある昔ながらの農家建築が見える。

⑧ 新波商店街 C-3



かつて川港のあった町の商店街。町屋風の商店が数軒残っている。

⑨ 街道の松 B-2



旧道沿いに立っている松。見事な枝振りだが、江戸時代の街道の雰囲気を感じさせる。

⑩ 新波神社 C-3



森林を背景にそびえる真っ赤な鳥居が神聖な雰囲気を感じさせている。

⑪ 秋田空港 B-C-1



線に囲まれ空に向けて開かれた滑走路が地域のランドマークとなっている。

⑫ 国際ダリア園 B-2



秋には一面にダリアが咲き誇り、見事な風景をつくる。春の山桜の風景も見事。

⑬ 秋田県農業試験場 B-2



雄物川が運ぶ土が堆積してきた河岸の平地に、現代的な角張った建築物がそびえる。

⑭ 長者山から見える風景 A-1



小高い丘の上から、雄和の山林や田園の風景が一望できる。

⑮ 高尾山 B-3



東から南にかけて眺望できる。雄物川の蛇行は絶景。晴れた日は奥羽山脈も見える。

凡例

景観要素の分類

- 自然的景観
- 業務地景観
- 拠点景観
- 緑化重点地区
- 水のネットワーク
- 風のネットワーク
- 住宅地景観
- 歴史的景観
- 眺望景観
- 地域の景観特性

2 雄和地域における景観づくりの方針

全体方針

雄和地域は、太平山の豊かな緑や清らかなせせらぎといった自然景観に恵まれた地域です。社会的景観では田園などの農地による景観の豊富さが特徴的です。

自然的景観では、高尾山などによる山林の景観資源が多く挙げられ、緑の景観が豊富であり、雄物川による水辺景観とともに地域にうるおいを与えています。

また、社会的景観・自然的景観の調和による眺望景観が随所で展開されています。今後は、これらの保全や活用に配慮した景観づくりを目指します。

雄和地域の特性への配慮

高尾山からの眺望

眺望点の確保や、眺望景観の保全に配慮します。



雄物川の美しい川の流れが一望でき、晴れた日には奥羽山脈も見ることのできる貴重な眺望点を有しています。

雄物川

川岸の緑の保全と、橋や高尾山からの眺望景観の保全を図ります。



水面と川岸の緑といった自然的景観と、黒瀬橋や水沢橋などの橋との調和による景観が展開されています。

雄物川沿いの田園

田園景観を保全・継承するとともに、この田園景観の中を流れる雄物川との調和を図ります。



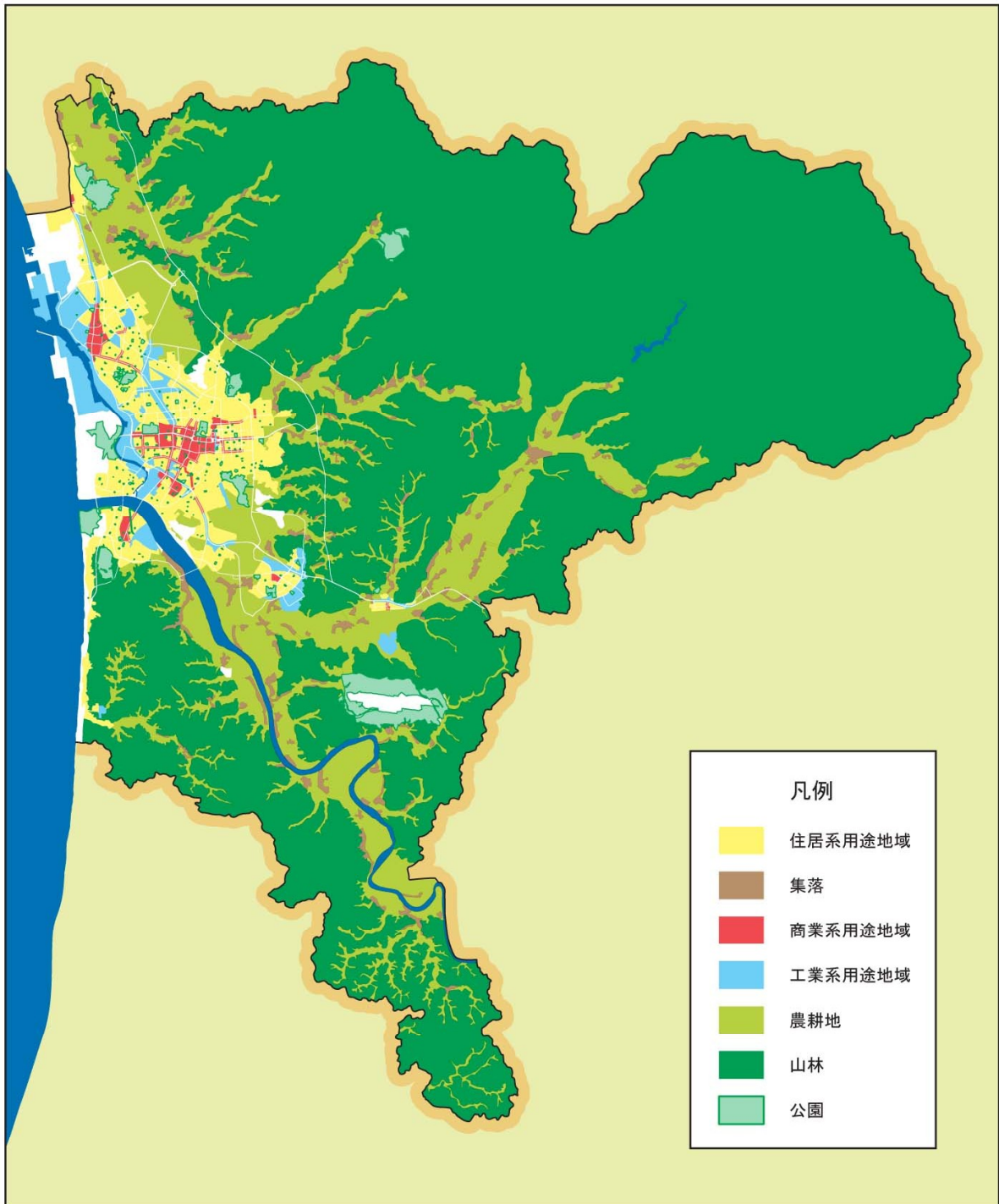
米どころ秋田を彷彿させる貴重な田園景観が広がっています。

(3) 土地利用別方針

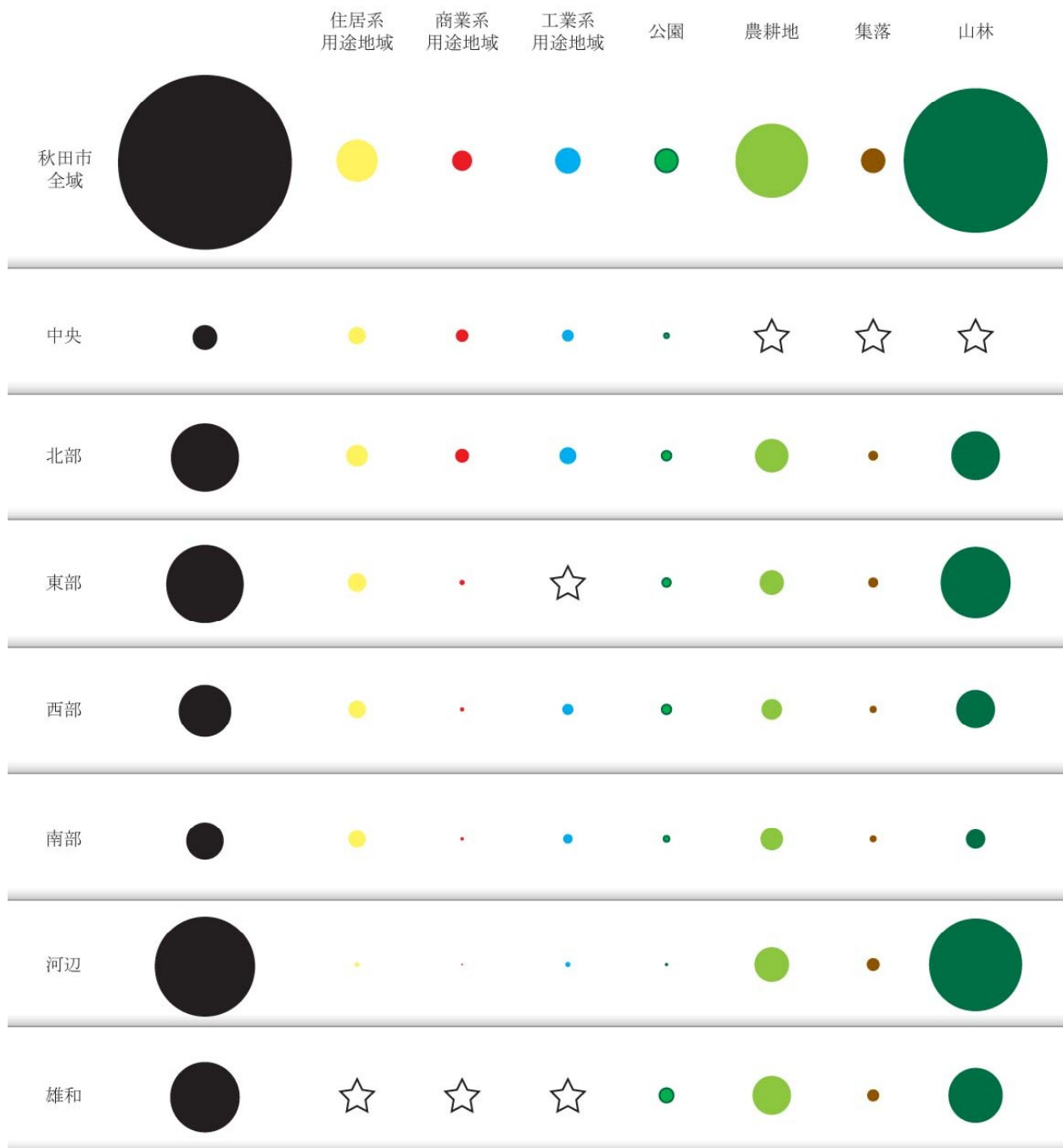
景観は、住宅・商店等の建物、橋・電柱等の工作物、川や樹木等の自然など目に見える全ての要素から構成されます。

そして、各々の場所での景観要素は、かなりの部分において、「土地利用」を規定する都市計画に深く関わっているため、土地利用別の方針を定めます。

市全域の用途地域



7 地域の用途地域の面積イメージ図



はその用途地域等がないことを表しています。

土地利用別方針

住宅系

- ・地区計画や建築協定等と連動した計画的で良好な住宅地の景観形成を図ります。
- ・各家々の生垣等の緑や草花による緑化をさらに推進した、うるおいのある住宅地の景観形成を図ります。
- ・宅地の連続した花壇等による緑や花による彩りある景観の創出や、連続した街区での生垣設置等、市民発意による景観形成を推進します。
- ・伝統的形態やデザインを継承した風格のある住宅地の景観の保全を図ります。
- ・沿道の住民や関係者が歩道の清掃や街路樹等の維持管理などに主体的に取り組むことにより、地域に愛着をもたらす景観形成を図ります。
- ・宅地化された空閑地については、土地の清潔を保持するとともに、環境美化の推進を図ります。

商業系

- ・県都にふさわしいにぎやかで魅力ある中心商業地の景観形成を図ります。
- ・安全で快適な回遊性のある歩行者空間を確保し、人々が集い交流する、にぎわいのある商業地景観の形成を図ります。統一感ある景観形成を図ります。
- ・ポケットパーク等を含む緑豊かな空間を創出したうるおいと憩いのある楽しい商業地の景観形成を図ります。
- ・街路樹や草花等による緑化を推進し、魅力ある業務地における緑のネットワークの整備による景観形成を図ります。
- ・沿道の住民や関係者が歩道の清掃や街路樹等の維持管理などに主体的に取り組むことにより、地域に愛着をもたらす景観形成を図ります。
- ・宅地化された空閑地については、土地の清潔を保持するとともに、環境美化の推進を図ります。

工業系

- ・街路樹や草花等による緑化を推進し、魅力ある業務地の景観形成を図ります。
- ・敷地内での緑化と安全に配慮した夜間照明の設置等をを推奨し、緑に包まれたうるおいのある、安全な工業地の景観の形成を図ります。

公園・緑地・墓園

- ・近隣住民や公園愛護協力会などの関係者が主体的に公園の清掃や除草、維持管理などに取り組むことにより、地域に愛着をもたらす景観形成を図ります。

集落

- ・四季毎に表情を変える田園を保全した景観形成を図ります。
- ・沿道の住民や関係者が歩道の清掃や街路樹等の維持管理などに主体的に取り組むことにより、地域に愛着をもたらす景観形成を図ります。

農耕地

- ・四季毎に表情を変える田園を保全した景観形成を図ります。
- ・秋田市の入口となる幹線道路の沿道では、市の印象度を高める景観形成を図ります。
- ・田園地帯に広がる里地・里山については、緑地保全のための法制度を活用し、その保全

を図ります。

山林

- ・秋田市の入口となる幹線道路の沿道では、市の印象度を高める景観形成を図ります。
- ・太平山から続く広大な丘陵部の緑、市街地周辺の樹林地など、秋田市を特徴づける景観の構成要素となる緑の保全を図ります。
- ・特色ある中山間地域の創造を図るため、里地・里山の保全や利活用と広葉樹林の造成、森林空間の市民利用を促進します。

(4) 景観の性質別方針

景観は、「歴史を感じる」あるいは「緑の安らぎを感じる」など個々の景観要素が持つ「性質」から得られる印象や雰囲気による影響も大きいいため、景観の性質別方針を定めます。

景観の性質別方針

緑を感じる景観

- ・沿岸のクロマツの保安林や市街地を取り囲む丘陵地の斜面等の緑の保全と市街地での都市公園の整備促進による緑の創出と保全による緑地景観の形成を図ります。
- ・緑化に関し、市民や事業者が主体的に取り組むことによる景観の形成を図ります。
- ・街路樹および草花による沿道緑化の一層の推進や桜並木等の保全を図った美しいというおいのある道路景観の形成を図ります。
- ・景観上特に重要かつ良好な樹林地については、緑地保全地区の指定などにより、その保全を図ります。
- ・水と緑のネットワークによる緑豊かな景観の形成を図ります。
- ・風致地区の指定による市街地の緑地景観の保全を図ります。

水辺を感じる景観

- ・海岸や河川上流部の水辺環境を維持、保全し景観の形成に積極的に努めます。
- ・市民に親しまれうるおいを与える市街地での水辺空間等を一層拡大した景観の形成を図ります。
- ・水と緑のネットワークによる緑豊かな景観の形成を図ります。

歴史を感じる景観

- ・伝統的、文化的建造物や史跡の保全に努め由緒ある街並み景観の形成を図ります。
- ・歴史的資源、観光の施設の維持、保全とその周辺住民の理解と配慮によりその雰囲気を継承した景観の形成を図ります。
- ・文化財指定や景観重要建造物指定などの法制度を活用した保存・活用を図ります。

ランドマークによる景観

- ・都市景観賞等の表彰制度による市民意識の高揚と建築物のデザイン水準等の向上した景観の形成を図ります。
- ・市街地からの景観のシンボルとなる場所や眺望のポイントとなる場所の緑の保全を図り

ます。

- ・景観重要建造物・景観重要樹木の指定による保存・活用を図ります。

眺望景観

- ・展望施設の周辺や眺望地点における緑については、眺望を楽しむ視点場の緑として、保全・整備を図ります。
- ・市街地からの眺望の確保を図ります。
- ・眺望地点を周知し、観光的要素としての活用も図ります。